

図面リスト（電気設備工事）

番号	図面名称	縮尺	番号	図面名称	縮尺	番号	図面名称	縮尺	番号	図面名称	縮尺	番号	図面名称	縮尺
電気計画														
TE-01	特記仕様書（1）	—	E-39	動力盤 単線結線図（4）	—	E-79	非常照明・誘導灯設備 2階平面図（2）	1/200	E-119	トイレ呼出設備 1階平面図	1/300	E-201	仮設 受変電設備 単線結線図	—
TE-02	特記仕様書（2）	—	E-40	動力盤 単線結線図（5）	—	E-80	非常照明・誘導灯設備 3階平面図	1/200	E-120	トイレ呼出設備 2階平面図	1/300	E-202	仮設 受変電設備 配置図	1/50
E-01	受変電設備 単線結線図	—	E-41	動力盤 単線結線図（テナント盤）	—	E-81	非常照明・誘導灯設備 4階平面図	1/200	E-121	トイレ呼出設備 3階平面図	1/300	E-203	仮設 高低圧ケーブル 敷設図	1/300
E-02	受変電設備 配置・平面・立面図	—	E-42	電灯分電盤 結線図（1）	—	E-82	非常照明・誘導灯設備 視聴覚ホール 2階平面図	1/100	E-122	トイレ呼出設備 4階平面図	1/300	E-204	仮設 仮設工事切替手順（現況図）	—
E-03	非常用発電機装置 仕様・外形図	1/50	E-43	電灯分電盤 結線図（2）	—	E-83	非常照明・誘導灯設備 視聴覚ホール 3階平面図	1/100	E-123	ITV設備 系統図・機器姿図	1/300	E-205	仮設 仮設工事切替手順-1 STEP 1	—
E-04	非常用発電機装置 計算書（火災停電時）	—	E-44	電灯分電盤 結線図（3）	—	E-84	非常照明・誘導灯設備 階段詳細図（1）	1/60	E-124	ITV設備 1階平面図	1/300	E-206	仮設 仮設工事切替手順-2 STEP 2	—
E-05	非常用発電機装置 計算書（一般停電時）	—	E-45	電灯分電盤 結線図（4）	—	E-85	非常照明・誘導灯設備 階段詳細図（2）	1/100	E-125	ITV設備 2階平面図	1/300	E-207	仮設 仮設工事切替手順-3 STEP 3	—
E-06	幹線設備 系統図	—	E-46	電灯分電盤 結線図（5）	—	E-86	非常照明・誘導灯設備 階段詳細図（3）	1/100	E-126	ITV設備 3階平面図	1/300	E-208	仮設 仮設工事切替手順-4 STEP 4	—
E-07	幹線設備 配線図	—	E-47	電灯分電盤 結線図（6）	—	E-87	コンセント設備 地下1階平面図	1/60	E-127	ITV設備 4階平面図	1/300			
E-08	幹線設備 地下1階平面図	1/200	E-48	照明器具姿図（1）	—	E-88	コンセント設備 1階平面図（1）	1/100	E-128	自動火災報知設備 凡例・特記・系統図	—			
E-09	幹線動力設備 1階平面図（1）	1/200	E-49	照明器具姿図（2）	—	E-89	コンセント設備 1階平面図（2）	1/100	E-129	自動火災報知設備 地下1階平面図	1/300			
E-10	幹線動力設備 1階平面図（2）	1/200	E-50	照明器具姿図（3）	—	E-90	コンセント設備 1階平面図（3）	1/100	E-130	自動火災報知設備 1階平面図	1/300			
E-11	幹線動力設備 2階平面図（1）	1/200	E-51	電灯設備 全体配置図	1/300	E-91	コンセント設備 2階平面図（1）	1/100	E-131	自動火災報知設備 2階平面図	1/300			
E-12	幹線動力設備 2階平面図（2）	1/200	E-52	配線・器具 凡例	—	E-92	コンセント設備 2階平面図（2）	1/100	E-132	自動火災報知設備 3階平面図	1/300			
E-13	幹線動力設備 3階平面図	1/200	E-53	電灯設備 地下1階平面図	1/100	E-93	コンセント設備 2階平面図（3）	1/100	E-133	自動火災報知設備 4階平面図	1/300			
E-14	幹線動力設備 4階平面図	1/200	E-54	電灯設備 1階平面図（1）	1/100	E-94	コンセント設備 3階平面図（1）	1/100	E-134	自動火災報知設備 屋上平面図	1/300			
E-15	幹線動力設備 屋上平面図	1/200	E-55	電灯設備 1階平面図（2）	1/100	E-95	コンセント設備 3階平面図（2）	1/100	E-135	非常放送設備 系統図	—			
E-16	動力設備（給排水・換気）地下1階平面図	1/200	E-56	電灯設備 1階平面図（3）	1/100	E-96	コンセント設備 3階平面図（3）	1/100	E-136	非常放送設備 機器姿図	—			
E-17	動力設備（給排水・換気）1階平面図（1）	1/200	E-57	電灯設備 1階平面図（4）	1/100	E-97	コンセント設備 4階平面図（1）	1/100	E-137	非常放送設備 地下1階平面図	1/300			
E-18	動力設備（給排水・換気）1階平面図（2）	1/200	E-58	電灯設備 2階平面図（1）	1/100	E-98	コンセント設備 4階平面図（2）	1/100	E-138	非常放送設備 1階平面図	1/300			
E-19	動力設備（給排水・換気）2階平面図（1）	1/200	E-59	電灯設備 2階平面図（2）	1/100	E-99	コンセント設備 屋上平面図	1/100	E-139	非常放送設備 2階平面図	1/300			
E-20	動力設備（給排水・換気）2階平面図（2）	1/200	E-60	電灯設備 2階平面図（3）	1/100	E-100	TEL設備 系統図	1/100	E-140	非常放送設備 3階平面図	1/300			
E-21	動力設備（給排水・換気）3階平面図（1）	1/200	E-61	電灯設備 2階平面図（4）	1/100	E-101	TEL設備 仕様書	—	E-141	非常放送設備 4階平面図	1/300			
E-22	動力設備（給排水・換気）3階平面図（2）	1/200	E-62	電灯設備 2階平面図（5）	1/100	E-102	TEL設備 地下1階平面図	1/300	E-142	非常放送設備 屋上平面図	1/300			
E-23	動力設備（給排水・換気）4階平面図（1）	1/200	E-63	電灯設備 3階平面図（1）	1/100	E-103	TEL設備 1階平面図	1/300	E-143	防火区画貫通要領図	—			
E-24	動力設備（給排水・換気）4階平面図（2）	1/200	E-64	電灯設備 3階平面図（2）	1/100	E-104	TEL設備 2階平面図	1/300						
E-25	動力設備（給排水・換気）屋上平面図	1/200	E-65	電灯設備 3階平面図（3）	1/100	E-105	TEL設備 3階平面図	1/300						
E-26	動力設備（空調）地下1階平面図	1/200	E-66	電灯設備 3階平面図（4）	1/100	E-106	TEL設備 4階平面図	1/300						
E-27	動力設備（空調）1階平面図（1）	1/200	E-67	電灯設備 4階平面図（1）	1/100	E-107	LAN設備 系統図	—						
E-28	動力設備（空調）1階平面図（2）	1/200	E-68	電灯設備 4階平面図（2）	1/100	E-108	テレビ共同受信設備 系統図	—						
E-29	動力設備（空調）2階平面図（1）	1/200	E-69	電灯設備 4階平面図（3）	1/100	E-109	幹線配線表・端子盤リスト	—						
E-30	動力設備（空調）2階平面図（2）	1/200	E-70	電灯設備 屋上平面図	1/100	E-110	事務室内HUB他配置図	1/20						
E-31	動力設備（空調）3階平面図（1）	1/200	E-71	視聴覚ホール 電灯設備 2階平面図	1/100	E-111	LAN・TV設備 地下1階平面図	1/200						
E-32	動力設備（空調）3階平面図（2）	1/200	E-72	視聴覚ホール 電灯設備 3階平面図	1/100	E-112	LAN・TV設備 1階平面図	1/200						
E-33	動力設備（空調）4階平面図（1）	1/200	E-73	視聴覚ホール（スタジオ小屋裏） 電灯設備平面図	1/100	E-113	LAN・TV設備 2階平面図（1）	1/200						
E-34	動力設備（空調）4階平面図（2）	1/200	E-74	非常照明・誘導灯器具姿図	—	E-114	LAN・TV設備 2階平面図（2）	1/200						
E-35	動力設備（空調）屋上平面図	1/200	E-75	非常照明・誘導灯設備 地下1階平面図	1/200	E-115	LAN・TV設備 3階平面図	1/200						
E-36	動力盤 単線結線図（1）	—	E-76	非常照明・誘導灯設備 1階平面図（1）	1/200	E-116	LAN・TV設備 4階平面図	1/200						
E-37	動力盤 単線結線図（2）	—	E-77	非常照明・誘導灯設備 1階平面図（2）	1/200	E-117	LAN・TV設備 屋上平面図	1/200						
E-38	動力盤 単線結線図（3）	—	E-78	非常照明・誘導灯設備 2階平面図（1）	1/200	E-118	トイレ呼出設備 機器姿図・系統図	—						

電気設備工事特記仕様書

- 1 工事概要
- 1.1 工事名 (仮称) かすかべひがし交流センター整備工事
 - 1.2 工事場所 埼玉県春日部市柏壁東三丁目2番15号
 - 1.3 工期 契約確定日 から 令和10年2月29日 まで
現場施工期間 令和8年10月1日 から 令和10年2月29日 まで
現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することができる。
 - 1.4 工事科目 (○印の付いたものを適用する)

<ul style="list-style-type: none"> ○ 電灯設備 ○ 動力設備 ・ 熱電設備 ・ 雷保護設備 ○ 受変電設備 ・ 電力貯蔵設備 ○ 発電設備 ○ 構内情報通信網設備 ○ 構内交換設備 ・ 情報表示設備 ・ 映像、音響設備 ○ 拡声設備 (非常放送設備) ○ 誘導支援、呼出し設備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テレビ共同受信設備 ・ テレビ電波障害防除設備 ○ 監視カメラ設備 ・ 駐車場管制設備 ・ 防犯、入退室管理設備 ○ 自動火災報知設備 ○ 自動閉鎖設備 ・ ガス漏れ火災警報設備 ○ 電話配管設備 ・ 中央監視制御設備 ・ 医療関係設備 ・ 昇降機設備
---	---

- 1.5 指定部分 ○ 無 ・ 有 (工期: 令和 年 月 日)
- 1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)
 - 1 専任期間の始期
請負契約締結の日から、○現場施工に着手するまで (現場事務所を設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで) の期間 ・ 令和 年 月 日 までの期間) については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
 - 2 専任期間の終期
工事完成後、検査が終了し (発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
 - 3 専任期間の中断
自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

- 1.7 2. 建物概要
- 1.8 3. 工事概要
- 電気設備全般の改修工事

- 1.9 同時期発注の関連工事 ・ 建築工事 ・ 機械設備工事

- ## 2 工事仕様
- ### 2.1 共通仕様
- (1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、春日部市電気設備工事特別共通仕様書 (以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編)、公共建築設備工事標準図 (電気設備工事編) (以下「標準仕様書等」という。)) 及び監督員の指示に従い施工する。
 - なお、市営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。
 - (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
 - (3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。

- 2.2 特記仕様 (特記事項の選択項目は、○印の付いたものがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない。○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。)

項目	特記事項
1 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものとする。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等は使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
2 施工条件	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律 (S63第91号) に定める行政機関の休日以外、上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。
3 工食用電力・水	本工事に必要な電力及び水などの費用は、受注者の負担とする。
4 工食用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることができる。
5 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。
6 監督員事務所	本工事で ○ 設ける (規模) ※設けない
7 保 険	受注者は工事的物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写し等を監督員に提出する。
8 再使用機材	取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付る。なお、その測定結果表を監督員に提出する。
9 建設リサイクル法の適用	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の適用について ※ 適用する (契約金額による) ・ 適用しない
10 完成図書の納品	完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表 (名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等) を記載すること。 市営住宅の完成図の提出部数は、A3二つ折り2部とする。
11 発生材処理	引渡を要するもの以外は構外に撤出し、適切に処理する。 (構外撤出処理費は、※本工事 ・ 別途) (1) 引渡しを要するもの () (2) 買取処分を要するもの (銅屑・鉄屑) (3) 再生資源化を図るもの (蛍光管) 蛍光管等は再生資源化施設等に搬入し、全てリサイクルするものとする。 (4) 特別管理産業廃棄物 () ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。

- 2 金属電線管の塗装
露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。
また、屋外で熔融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。ただし、見えかきり部の塗装については監督員の指示による。
- 3 鍵
錠等の鍵は、既存錠及び別途工事の錠との整合を極力図るものとする。
- 4 地中電線路

敷き均し土	管 種 別
良質土	硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVE) 波打硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆鋼管 (PLP)

(2) 地中電線路には、ケーブル埋設標及び標識シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の標識シートは図面特記による。
(3) 地中電線路の敷設は管路とし、埋設深さは地表面 (舗装する部分では路盤材下面) から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。

- 15 回路の種別 先行の表示
ハンドホール、プルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、回路の種別、先行の表示を行う。
- 16 電線の接続
湿気の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。
上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。
- 17 電線管の接続
屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじなし工法としてもよい。
- 18 接地工事
漏電遮断機で保護されている電路と保護されていない電路のD種接地極が共用していない場合の接地線は、混触防止のため、緑色、緑/黄又は緑/色帯で区別する。
- 19 建設発生土の処理
埋戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。
・構外撤出適切処理する。

- 20 再生砂・再生砕石
契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、表層以外において監督員の了解を得た上で、・使用できる。 ※使用できない。
再生砂使用に先立ち、1購入あたり1検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。

- 21 耐震施工
設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針」(独立行政法人建築研究所監修)による。
なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。
(1) 設計用水平地震力
機器の重量 [kgf] に、設計用水平地震を乗じたものとする。
なお、特記なき場合、設計用水平地震度は、次による。

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
中間階	水 槽 類 (※)	2.0	1.5	1.5	1.0
	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類 (※)	1.5	1.0	1.0	0.6
	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の塔屋	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類 (※)	1.5	1.0	1.0	0.6

- 【備 考】(※1) : 水槽類には、オイルタンク等を含む。
重要機器
・配電盤 ・ 発電装置 (防災用) ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置
・ 交換機 ・ 火災報知器受信機 ・ 中央監視装置 ・ 太陽光発電装置
上層階の定義は次による。
2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
(2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

- 2.2 あと施工アンカー
機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。
施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。
金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。
接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。
(原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。)
あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。

- 2.3 はつり及びあと施工アンカー打設
既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてX線撮影調査を実施すること。
電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。

- 2.4 改修部分の足場
本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。
(1) 内部足場 ・ 脚立足場
(2) 外部足場 ・ A種 (枠組足場) ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種
※足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」について「(厚生労働省令)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」の2の(1)手すり据置方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行うものとする。

- 2.5 墜落制止用器具 (フルハーネス型)
※使用を要する 墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン による
・使用を要しない

- 2.6 施工計画書
※施工に先立ち、次の施工計画書を提出し監督員の承認を受ける
※総合施工計画書 (工程・品質・安全・環境配慮・仮設計画等を含む)
※工種別施工計画書
・電力設備工事 ・ 受変電設備工事 ・ 電力貯蔵設備工事
・ 発電設備工事 ・ 通信、情報設備工事 ・ 中央監視制御設備工事
・ 医療関係設備工事 ・ 昇降機設備工事
※その他監督員が必要と認めるもの

- 2.7 アスベスト事前調査結果の報告
全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石棉障害予防規則の事前調査を建築物石綿含有建材調査者により実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告する。

- 2.8 その他
(1) 施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。
(2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製作する。
(3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。
(4) 本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。
(5) 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。
(6) 改修工事等を実施する場合、施工する前後に工事対象面所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。
(7) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように締密に打合せを行うこと。
(8) 本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。
(9) 特に騒音振動など周辺に大きな影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せて設定すること。
(10) 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施することと、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。
以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。

- 2.3 工事別一般事項 (特記事項選択項目は、○印の付いたものを適用する)

項目	特記事項
① 電灯設備	(1) 配線器具 スイッチ・壁付コンセント (2P15A) は連用形とする。なお、2口コンセントは複式を使用してもよい。 フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。ただし、市営住宅における住戸内のフラッシュプレートについては、樹脂プレートを使用することができる。 コンセント器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。 (2) 照明器具 防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘導灯とし、関係法令に適合したものとする。 (3) 照度測定 電灯設備工事に際し、新築工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修前と改修後の照度測定をJIS C 7612「照度測定方法」により、学校においては学校環境衛生基準により実施すること。 (4) 分電盤 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。 (5) 継柱 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしろカバーと仕上り面とが10mm程度以上離れる場合は継柱を使用する。ただし、ボード張りで、ボード裏面と塗りしろカバーの間が離れないように施工した場合は、継柱を必要としない。 (6) 位置ボックスの省略 ケーブルころしが具備で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略してもよい。
② 動力設備	(1) 動力制御盤及び開閉器の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷用送り端子台は1負荷につきU・V・W・Eの4Pを原則とする。 (2) 電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。
③ 雷保護設備	受雷部突撃はLR1とする。
④ 受変電設備	高 圧 引 込 引込み口は、設計図に示された位置を電力会社に再確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その端末処理は監督員の立会いのうえで施工する。 高圧ケーブル端末部はシースずれ防止対策を施す。 (端末処理 ・ 耐塩用 ・ 一般用) 受 電 電 圧 交流3相3線式 6.6kV 50Hz 高圧気中 定格電圧 7.2kV 定格電流 300 A 負荷開閉器 (UAS) 主 遮 断 装 置 定格電圧 7.2 kV 定格遮断電流 12.5 kA 変圧器設備容量 動力用 500 kVA×1台 電灯用 100 kVA×1台 150 kVA×1台 高圧進相コンデンサ 31.9 kVar×1台 79.8 kVar×1台 直列リアクトル ○6% ・ 13% 9.91 kVar×1台 4.78 kVar×1台
⑤ 構内情報通信網設備	ネットワーク機器を盤内等に収納する場合は、放熱、耐塵等を考慮する。
⑥ 電力貯蔵設備	・直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置 (概要)
⑦ 発電設備	○ ディーゼル発電装置 ・ ガスエンジン発電装置 ・ ガスタービン発電装置 ・ マイクロガスタービン発電装置 ・ 燃料電池発電装置 ・ 熱供給 (コージェネレーション) 発電装置 ・ 太陽光発電装置 ・ 風力発電装置 (概要)

⑧ 構内交換設備	局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。
⑨ 自動火災報知設備 ガス漏れ火災警報設備、拡声設備 (非常放送設備)	(1) 所轄する消防署と打合せのうえ、各関係条例等に従い施工する。 (2) 総合盤内の接続は端子を使用し、回路名を記入しておくものとする。 (3) ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえで行うものとする。
10 昇降機設備	特記なき場合の施工は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) による。 なお、市営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書による。

- 2.4 取付高さ
壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

名 称	測 点	取付高さ (mm)	
		一 般	市営住宅
スイッチ (一般)	床上〜中心	1,300	1,200
〃 (身体障害者用)	〃	1,100	1,000
〃 (人感センサー切換用)	〃	2,000	2,000
コンセント、電話用アット、直列ユニット (一般)	〃	300	400
〃 (和室)	〃	150	200
〃 (台上)	台上〜中心	150	500
防水型コンセント	床下〜中心	500	500
分電盤、制御盤、開閉器箱	〃	(上端1,900以下)1,500	(上端1,900以下)1,500
呼出ボタン (身体障害者用)	〃	900	900
復旧ボタン (〃)	〃	1,800	1,800
廊下表示灯 (〃)	〃	2,000	2,000
端子盤	〃	(上端1,900以下)1,500	2,000

- ### 3 その他
- 3.1 他工事との取合区分
発注図又は工事区分表による。
 - 3.2 図面上の縮尺
図面上の縮尺は、JIS A1版とした縮尺とする。
 - 3.3 疑義
本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。
 - 3.4 工食用図面
工食用手時原設計図 縮小製図 (A3版 A3以上の設計図はA3に縮小)
※要 (部) ・ 不要

項目	特記事項
舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書	第1条 この特記仕様書は、春日部市電気設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水 (以下「濁水」という。) の処理に関し必要な事項を定めるものである。 第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ・種類及び処理量 汚泥 (油分を含む汚泥) m3 ・中間処理施設 市 地内、(株) ・処理方法 ・ 中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は溶融含まず) ・中間処理後、最終処分場又は再資源化 (処理に焼却又は溶融を含む) 第2条 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。 第3条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥 (油分を含む汚泥) として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 第2条 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 第3条 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 第4条 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票 (以下「マニフェスト」という。)) により管理するものとする。 第4条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 第2条 受注者は、工事検査時にマニフェストの写しを添付する。 第5条 濁水処理量については、舗装版の切断原長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。 第3条 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。 第3条 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

項目	特記事項
昇降機の適切な維持管理に係る特記仕様書	第1条 この特記仕様書は、昇降機設備工事 (新設、増設又は更新) において、昇降機を常時適法な状態に維持できるよう必要な事項を定める。なお、この特記仕様書に記載されていない事項は、「昇降機の適切な維持管理に関する指針」による。 第2条 この特記仕様書における用語の定義は、次の各号による。 2 昇降機とは、本工事で施工した昇降機設備をいう。 3 発注者とは、本工事の発注者をいう。 4 受注者とは、本工事の受注者をいう。 5 製造者とは、昇降機の製造者をいう。 6 管理者とは、昇降機の引渡しを受け、施設管理を行う者をいう。 7 保守点検受注者とは、管理者からの委託により、保守・点検業務を受注した者をいう。 第3条 製造者または受注者は、次の各号に掲げる責任を果たすよう努めなければならない。 1 製造者は、製造した昇降機の部品等を、昇降機の引渡しから起算して耐用年数を勘案して適切な期間供給すること。 2 製造者は、適切な維持管理を行うことができるよう、管理者に対して維持管理に必要な情報又は機材を提供又は公開するとともに、問い合わせ等に対応する体制を整備すること。 3 製造者は保守点検受注者からの依頼に対し協力すること。 4 製造者は、製造者に対し、前各号の規定を遵守するよう要請すること。 第4条 この特記仕様書に定めのない事項については、必要に応じて発注者と受注者が協議して定める。

- 官公庁等打ち合わせ相手
 建築: _____
 昇降機: _____
 施設管理者: _____
 電力会社: _____
 電話会社: _____
 ケーブルテレビ会社: _____
 消防本部: _____
 注記) 電気設備は法32条に適合する。

○ 環境配慮（グリーン）改修工事

1 アスベスト処理工事
一般共通事項

留意事項

1. 本工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。
2. アスベスト処理を所管する行政庁の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。
3. この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（以下「改修仕様」という）及び「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（厚生労働省・環境省）による。

2 アスベスト含有分析調査

分析によるアスベスト含有建材の調査 [9.1.1]

・ 行う（下表による）

材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析

採取箇所 ※ 図示 ・

分析対象

※ アスベスト 6 種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トモライト）

調査方法・分析方法

※ JIS A 1481 規格群（1481-1, 2, 3, 4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。
分析結果については、監督員に提出すること。

3 アスベスト粉じん濃度測定

アスベスト粉じん濃度測定 [9.1.1]

・ 行う（測定名称及び測定点は下表による）

測定箇所 ※ 図示 ・

適 用			測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 (各処理作業ごと)	備考
レベル1	レベル2	レベル3					
○	○	・	測定1	処理作業前	処理作業室内	※各2点・各3点	
○	○	・	測定2		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
・	・	・	測定3	処理作業中	処理作業室内	各2点	
○	・	・	測定4		セキュリティゾーン入口	各1点	空気の流れを確認
○	・	・	測定5		責任・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)	各1点	除じん装置の性能確認
○	○	・	測定6	処理作業後 (隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
○	○	・	測定7		処理作業室内	各2点 (レベル3は1点)	
○	○	・	測定8	処理作業後 (シート撤去後 1週間以降)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
・	・	・	測定9		処理作業室内	各2点 (レベル3は1点)	
・	・	・	測定10	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点		

アスベスト粉じん濃度測定方法

アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。
測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定 5
計数機器	位相差・分散顕微鏡		
メンブレンの直径	25 mm		47 mm
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min
試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野		
計数石綿	直径(幅) 3µm 未満、長さ 5µm 以上、長さと同径比 3:1 以上の繊維状物質		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

報告書の作成（記録する項目）

ア、測定結果
イ、測定時間
ウ、測定位置（測定高さとともに図面上に記載）
エ、サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）
オ、マウンティング方法
カ、顕微鏡視野面積、計数視野数
キ、測定時（各測定場所ごと）天候、温度、湿度、外気の風速及び風向
ク、周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真

4 7ｽﾞｽﾄ含有吹き付け材の撤去（レベル1）

アスベスト含有吹き付け材の除去 [9.1.3]

・ 行う 除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。

除去物及び汚染物質等
処理方法
※密封処理（二重袋梱包）
隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。
・セメント固化
処理を行う吹き付けアスベストの仕様

材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示 ・

5 7ｽﾞｽﾄ含有保温材等の撤去（レベル2）

アスベスト含有保温材の除去 [9.1.4]

・ 行う
作業上の隔離
・ 行う
・ 行わない
処理を行う保温材等アスベストの仕様

材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示 ・

6 7ｽﾞｽﾄ含有成形板類の撤去（レベル3）

1 アスベスト含有成形板の除去 [9.1.5]

・ 行う
処理を行うアスベスト成形板の仕様等

材 料 名 (製品名)	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲
・		※ 図示 ・
・		※ 図示 ・
		※ 図示 ・
		※ 図示 ・

2 非石綿部での切断による除去

・ 行う
処理を行うアスベスト含有物の仕様等

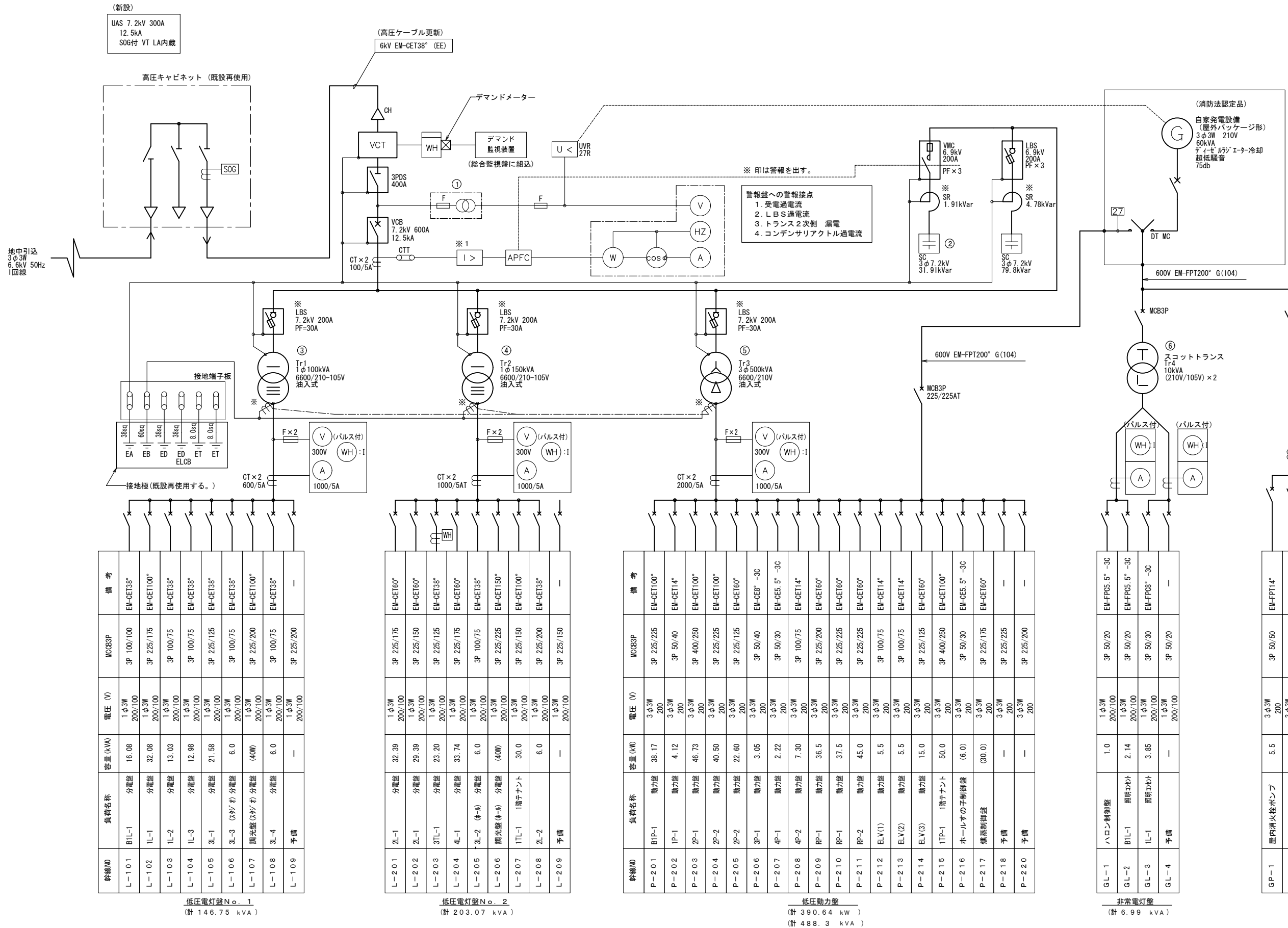
材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲
・ 設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）		※ 図示 ○撤去範囲すべて
・ 石綿含有保温材付配管		※ 図示 ○撤去範囲すべて
・ 石綿含有配管フランジパッキン		※ 図示 ○撤去範囲すべて
		※ 図示 ・撤去範囲すべて

※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれ考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。

<参考>石綿使用有無の事前調査フロー

```

graph TD
    A["(1) 設計図書による調査  
① 施工年による調査  
② 使用建築材料による調査"] --> B["可能性あり・不明"]
    A --> C["可能性なし"]
    B --> D["(2) 現場目視による調査  
目視調査（建材の確認）"]
    D --> E["可能性あり・不明"]
    D --> F["可能性なし"]
    E --> G["分析を実施しない場合"]
    E --> H["分析を実施する場合"]
    G --> I["石綿含有とみなす"]
    I --> J["石綿使用あり・届出要件確認・届出"]
    H --> K["(3) 分析調査による判定  
JIS A 1481-2「建設製品中のアスベスト含有率測定方法」など"]
    K --> L["石綿含有0.1%を超えていると判断"]
    L --> J
    K --> M["石綿含有0.1%以下と判断"]
    M --> N["石綿使用なし"]
  
```



凡例

記号	名称	
G	発電機	
VCT	電力取引用変成器	
DS	高圧断路器	
VCB	高圧真空電磁接触器	
LBS	高圧負荷開閉器	
PF	電力ヒューズ	
VT	計器用変圧器	
CT	計器用変流器	
ZCT	零相変流器	
MCOB	配電用遮断器	
ELCB	漏電遮断器	
F	低圧ヒューズ	
SC	進相用コンデンサ	油入形 ガス封入式
SR	直列リアクトル	油入形
DOG	放電コイル	油入形
Tr	変圧器	トランスナー油入形
PP	パルスビックアップ	変換器付
MM	マルチメータ	
V	交流電圧計	
A	交流電流計	最大需要電流は警報を出す
⊕VS	電圧切替スイッチ	
⊖AS	電流切替スイッチ	
WH	電力量計	
W	電力計	
cosφ	力率計	
U<	不足電圧継電器	UVR
I>	過電流継電器	OCR
U±	地絡過電流継電器	OCGR
APFC	自動力率調整装置	
θ	温度継電器	
LGR	漏電継電器	

注) 受変電設備(屋外キュービクル)は消防庁告示第11号による。

低圧電灯盤 No. 1
(計 146.75 kVA)

低圧電灯盤 No. 2
(計 203.07 kVA)

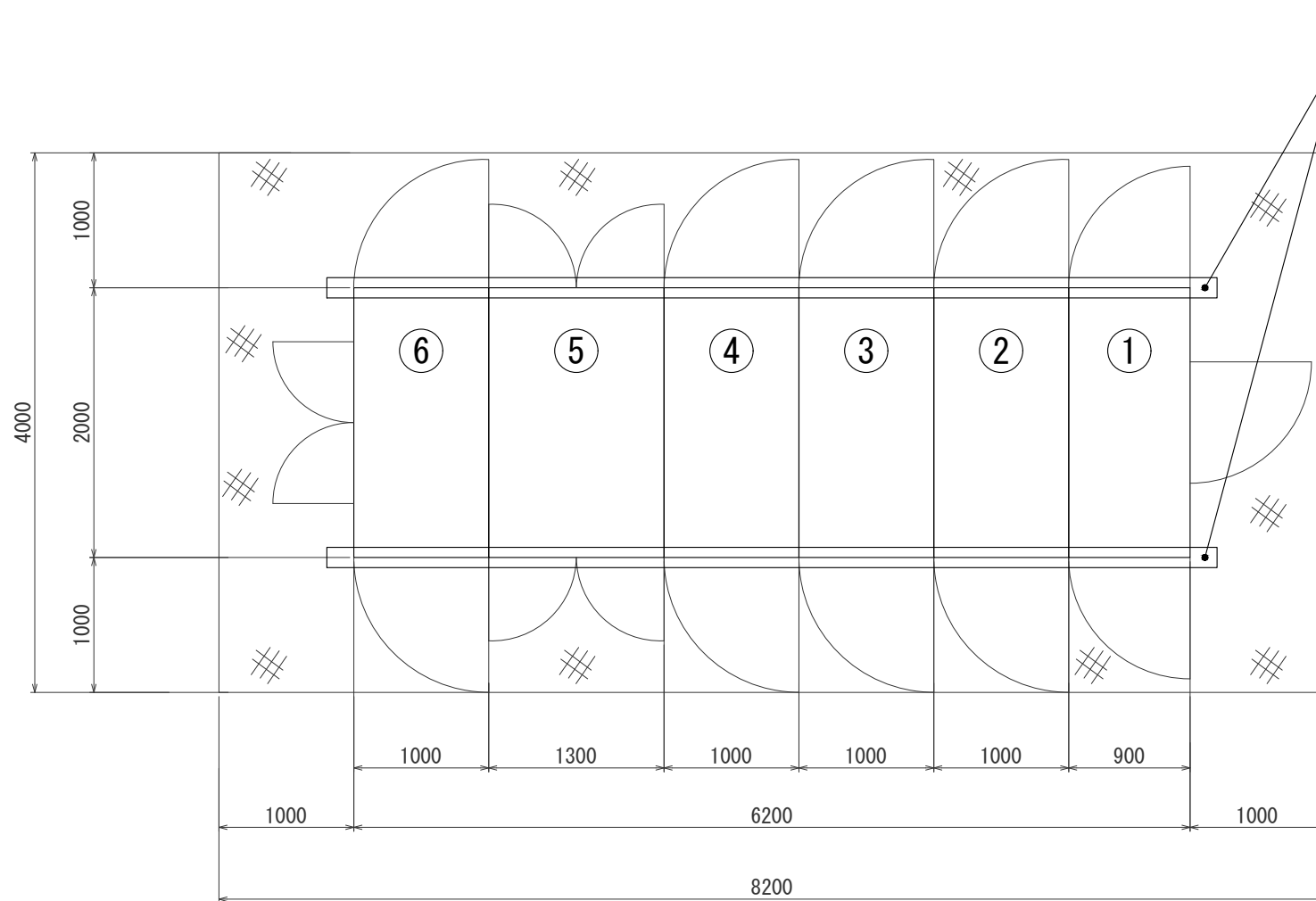
低圧動力盤
(計 390.64 kW)
(計 488.3 kVA)

非常電灯盤
(計 6.99 kVA)

非常動力盤
(計 31.48 kW)
(計 39.35 kVA)

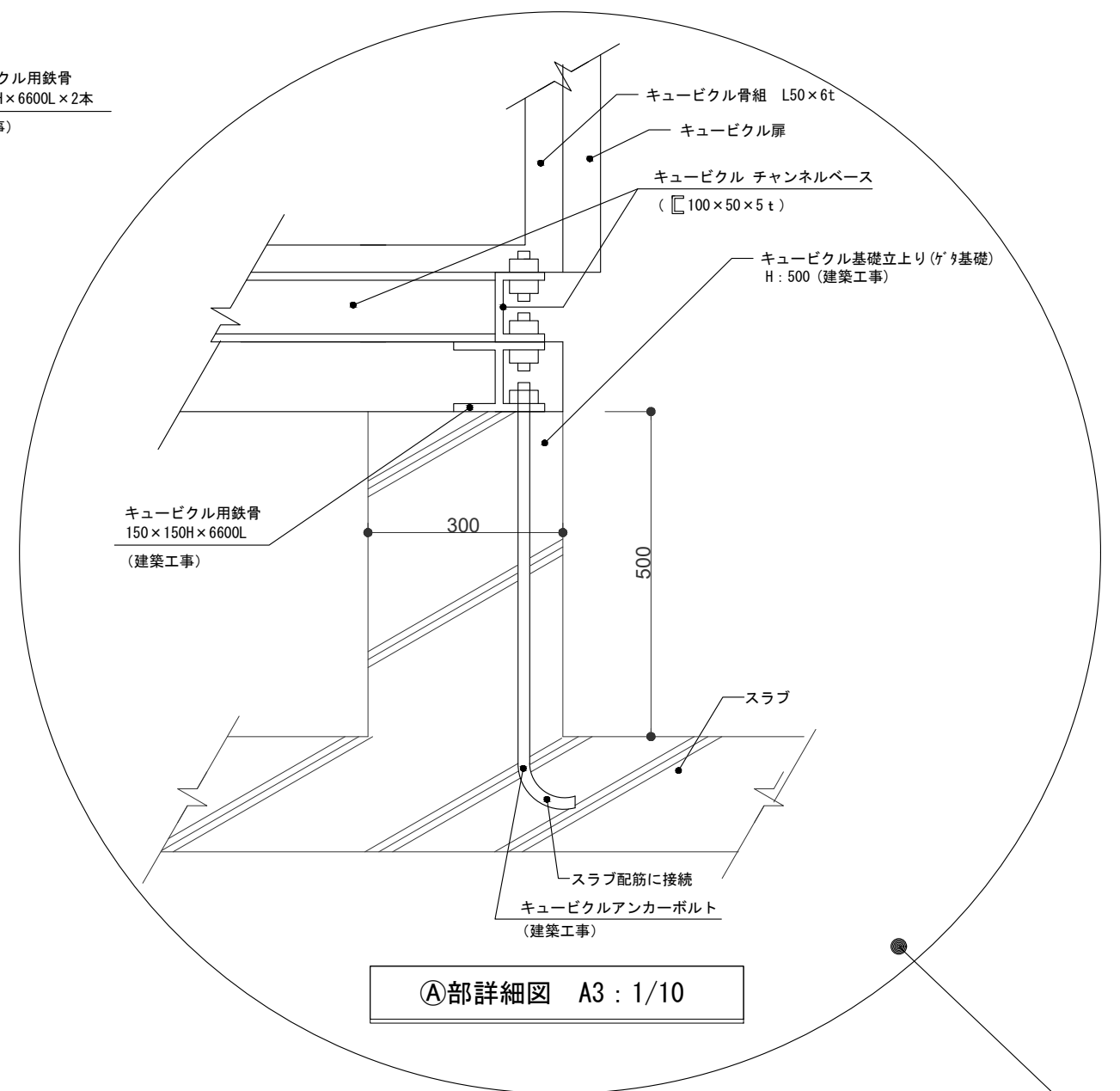
受変電設備 単線結線図

縮尺	工事名称	図名	図面番号
A1 - N.S A3 - N.S	(仮称) かすかべひがし交流センター整備工事	受変電設備 単線結線図	E-01

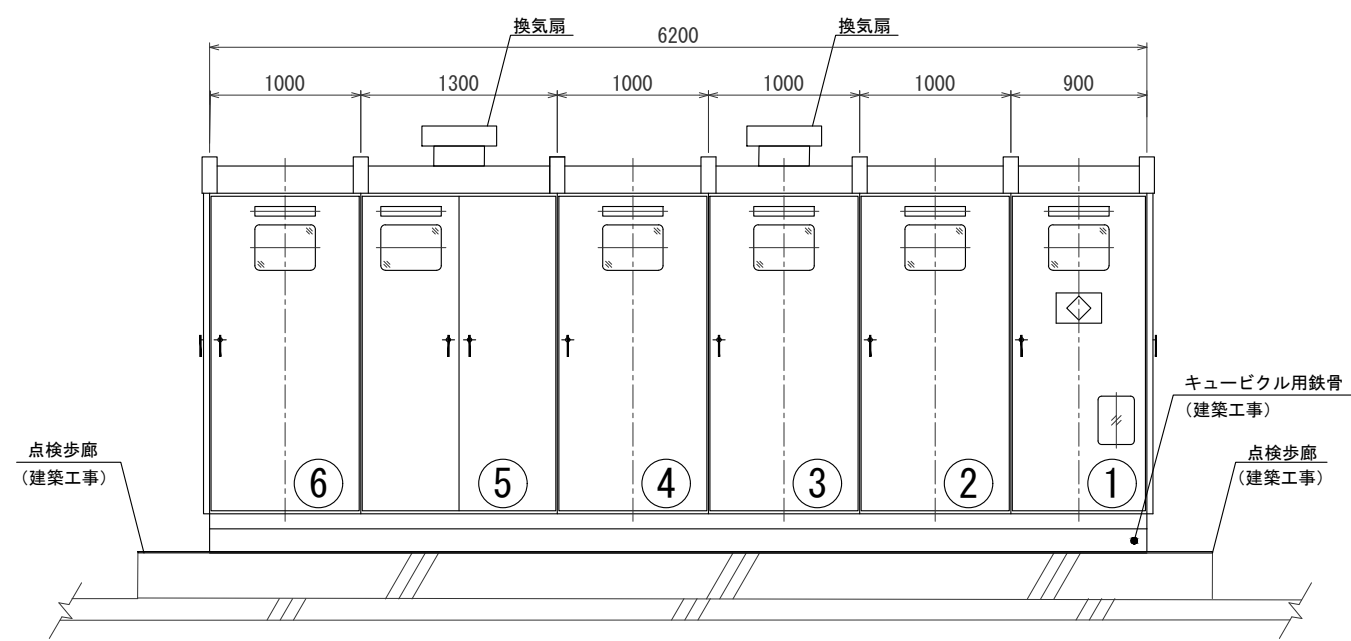


平面図 A3 : S=1/50

キュービクル用鉄骨
150×150H×6600L×2本
(建築工事)



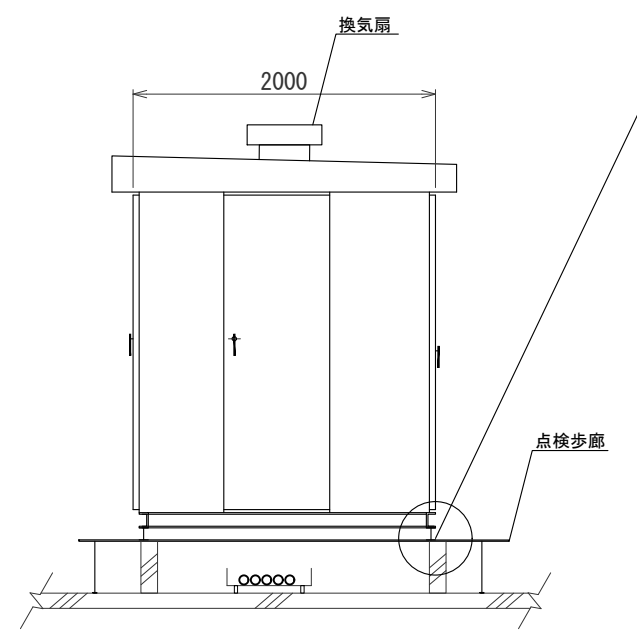
①部詳細図 A3 : 1/10



正面図 A3 : S=1/50

受変電設備 外形図

No.	盤名称	想定重量	備考
①	高圧受電盤	1,000kg	
②	高圧コンデンサ盤	1,100kg	
③	低圧電灯盤 No. 1	1,200kg	
④	低圧電灯盤 No. 2	1,200kg	
⑤	低圧動力盤	1,400kg	
⑥	非常電灯、動力盤	1,200kg	



側面図 A3 : S=1/50

自家発電設備特記仕様書

1. 一般事項

1.1 適用規格

- 本特記仕様書及び設計図によるほか下記によること。
- (1) 日本産業規格 (JIS)
 - (2) 電気学会電気規格調査会標準規格 (JEC)
 - (3) 日本電機工業会標準規格 (JEM)
 - (4) 電気設備技術基準
 - (5) 日本内燃力発電設備協会規格
 - (6) 消防法
 - (7) 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)最新年版

1.2 設置条件

温度：-5℃～40℃
 湿度：85%以下
 高度：海拔300m以下

2. 機器仕様

2.1 発電装置

- (1) 共通仕様
 認定：日本内燃力発電設備協会認定品(長時間形)
 運転方式：(a) 始動方式 電気式
 (b) 起動時間 40秒以内
 (c) 停止操作 商用電源復帰信号受信後一定時間運転した後停止する。
 尚、手動及び非常停止装置を設ける。

- (2) 発電機
 形式：三相交流同期発電機
 出力：60 kVA
 電圧：200 V
 電流：174 A
 周波数：50 Hz
 回転速度：1500 min⁻¹
 極数：4 極
 相数：3φ3W
 力率：0.8(遅れ)
 励磁方式：ブラシレス励磁

- (3) ディーゼル機関
 形式：水冷4サイクルディーゼル機関
 定格出力：78 kW{106 PS}
 回転速度：1500 min⁻¹
 冷却方式：ラジエータ方式
 燃料油：軽油
 燃料消費量：14.9 L/h
 燃料タンク：190 L 搭載タンク
 潤滑油量：13 L
 ヒルモーター：DC24V 6 kW
 蓄電池容量：DC24V 40 Ah (REH)

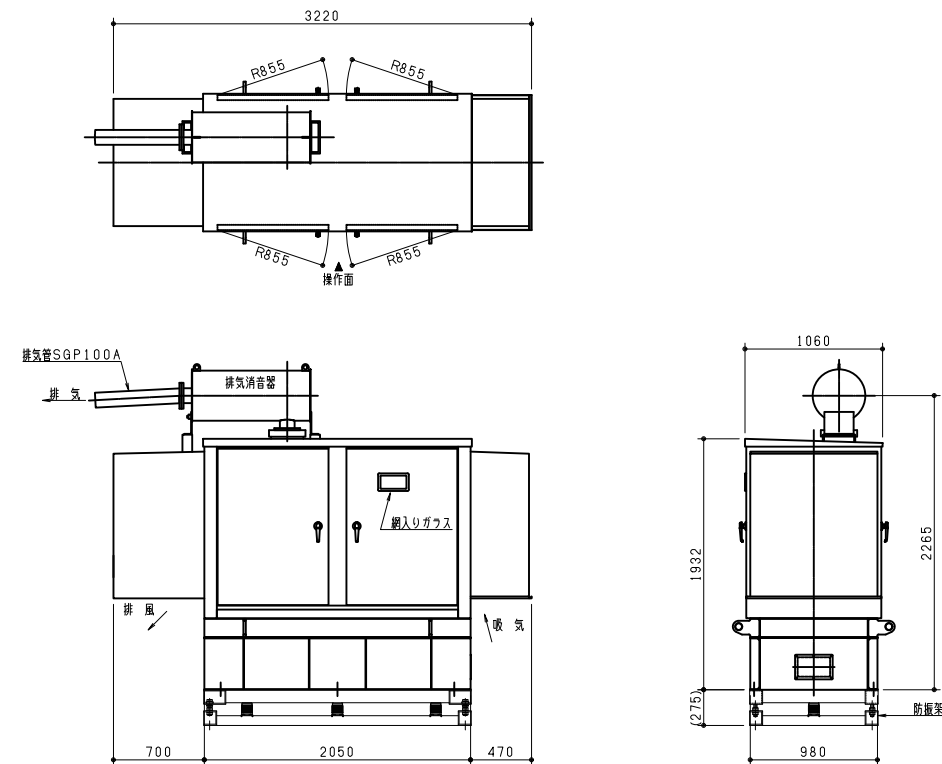
- (4) 自動始動発電機盤
 構造：鋼板製搭載配電盤
 盤内配線：エコケーブル使用
 保守回路：エコ運転モード付
 (定期的自動プライミングによるエンジン起動無しでの保守運転)
 *定期的保守運転回路も装備の事(1~4週間間隔で設定可)

- (5) 発電設備外形形状
 構造：屋外キュービクル低騒音形
 ボンネット材質：キュービクルは亜鉛メッキ鋼板を使用のこと
 騒音レベル：機側1m平均85dB(A)以下
 機器質量：約2145 kg(整備質量)
 塗装色：5Y7/1(半ツヤ)
 共通架台：溶融亜鉛メッキ仕上げ、底板付
 防振架台：コイルスプリング式防振架台(f_n:4.0Hz)

3. 保護一覧

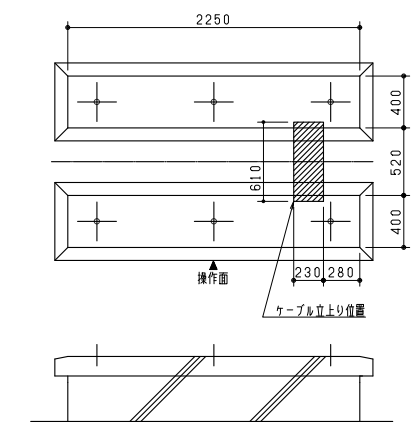
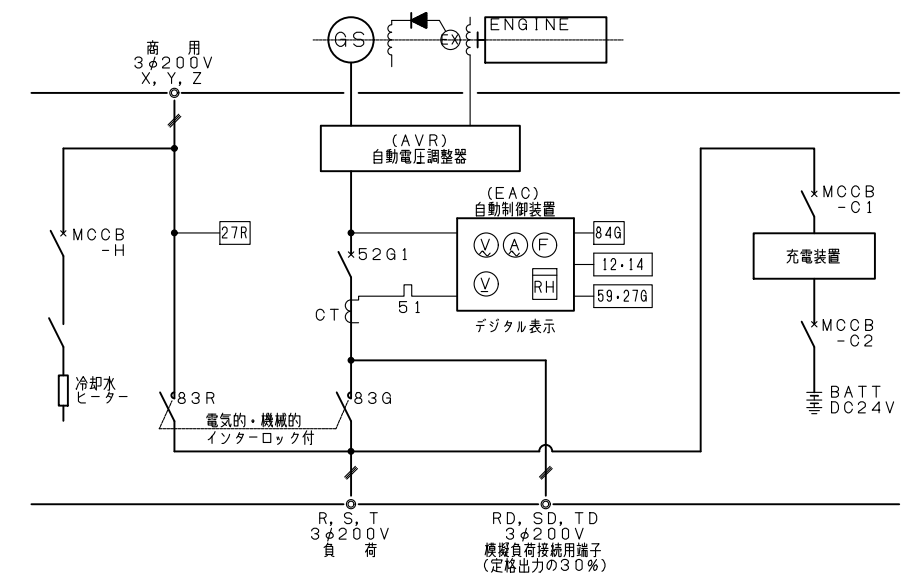
故障種別	機関停止	遮断器断	表示	色	警報ベル	外部支給接点
潤滑油油圧低下	○	○	○	赤	○	○(一括)
冷却水温度上昇	○	○	○	赤	○	
過速度	○	○	○	赤	○	
始動渋滞	○	—	○	赤	○	
過電流	—	○	○	赤	○	
緊急停止	○	○	○	赤	○	
過電圧	○	○	○	赤	○	
不足電圧	○	○	○	赤	○	
周波数低下	○	○	○	赤	○	
燃料油最低油量	○	○	○	赤	○	
充電異常	—	—	○	橙	○	

5. 発電設備外観図・基礎図



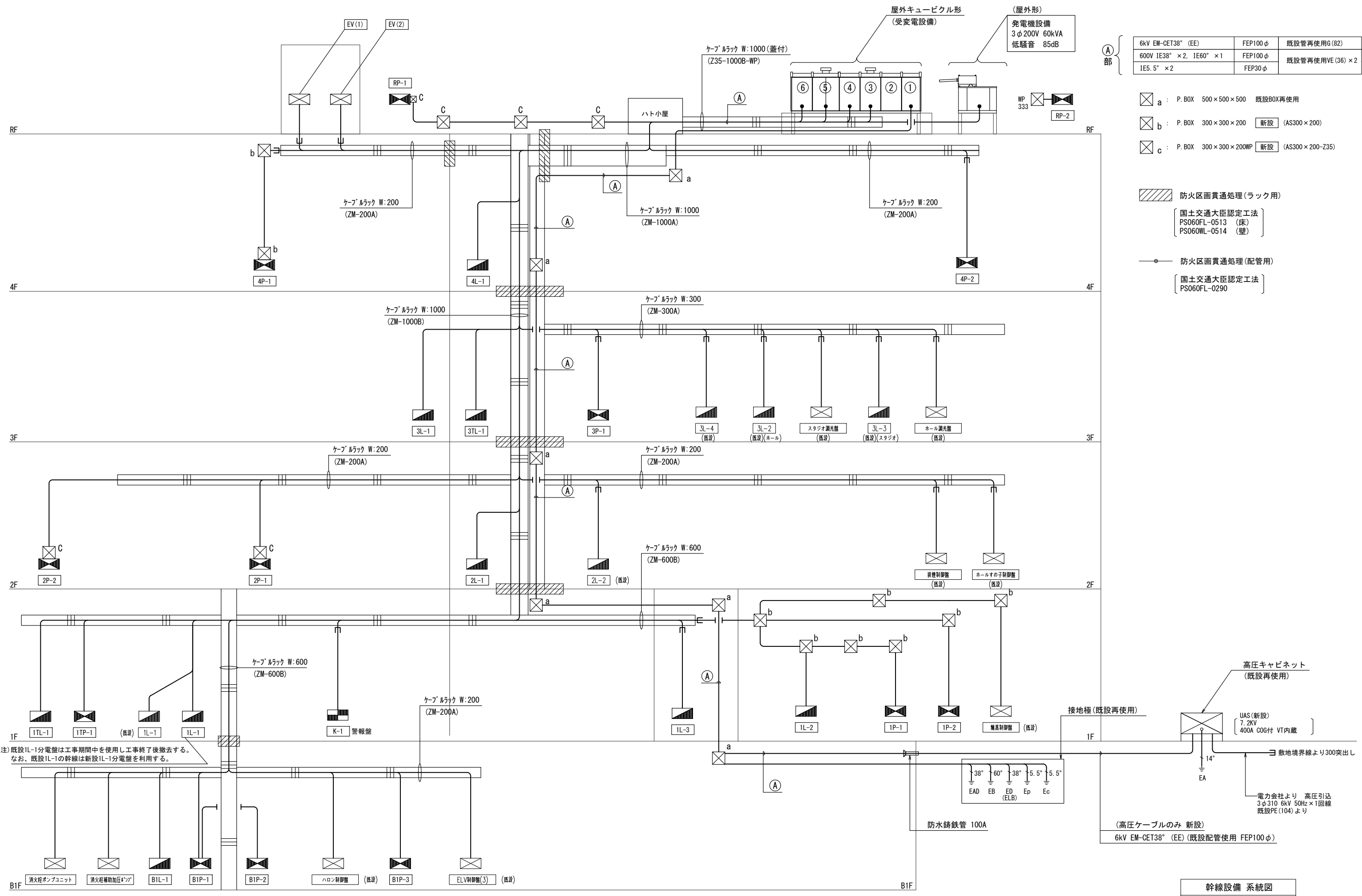
発電設備外観図
 (A1) S: 1/30 (A3) S: 1/60

4. 発電機単線結線図



発電設備基礎図
 (A1) S: 1/30 (A3) S: 1/60

縮尺	工事名称	図名	図面番号
A1 - N.S A3 - N.S	(仮称) かすかべひがし交流センター整備工事	非常用発電機装置 仕様・外形図	E-03



(A)部

6kV EM-CET38° (EE)	FEP100φ	既設管再使用G (82)
600V IE38° × 2, IE60° × 1	FEP100φ	既設管再使用VE (36) × 2
IE5.5° × 2	FEP30φ	

- ☒ a : P. BOX 500×500×500 既設BOX再使用
- ☒ b : P. BOX 300×300×200 新設 (AS300×200)
- ☒ c : P. BOX 300×300×200WP 新設 (AS300×200-Z35)

防火区画貫通処理(ラック用)
 国土交通大臣認定工法
 PS060FL-0513 (床)
 PS060WL-0514 (壁)

防火区画貫通処理(配管用)
 国土交通大臣認定工法
 PS060FL-0290

注) 既設1L-1分電盤は工事期間中を使用し工事終了後撤去する。
 なお、既設1L-1の幹線は新設1L-1分電盤を利用する。

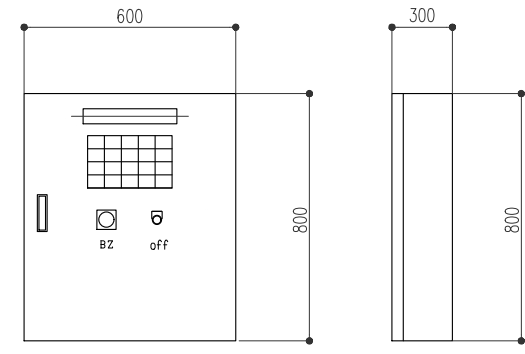
幹線設備 系統図

春日部市	縮尺 A1 - N.S A3 - N.S	工事名称 (仮称) かすかべひがし交流センター整備工事	図名 幹線設備 系統図	図面番号 E-06
------	----------------------------	--------------------------------	----------------	--------------

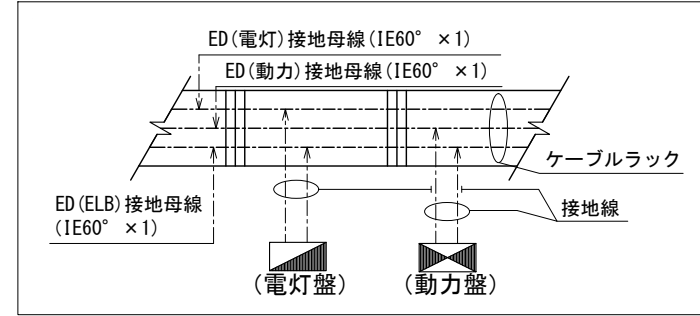
配線表

	自	至	負荷名称	電圧(V)	容量(kVA)	配線仕様	接地線	配管	備考	
電灯幹線	キュービクル③	L-101	B1L-1 分電盤	1φ3W 200/100V	16.08	600V EM-CET 38°	IE5.5°	ラック → E (63)		
	キュービクル③	L-102	1L-1 分電盤	1φ3W 200/100V	31.58	600V EM-CET 100°	IE14°	ラック → G (82)		
	キュービクル③	L-103	1L-2 分電盤	1φ3W 200/100V	13.03	600V EM-CET 38°	IE5.5°	ラック → E (63)		
	キュービクル③	L-104	1L-3 分電盤	1φ3W 200/100V	12.98	600V EM-CET 38°	IE5.5°	ラック → E (63)		
	キュービクル③	L-105	3L-1 分電盤	1φ3W 200/100V	21.58	600V EM-CET 38°	IE8°	ラック → E (63)		
	キュービクル③	L-106	3L-3 (スタジオ2) 分電盤	1φ3W 200/100V	6.0	600V EM-CET 38°	IE5.5°	ラック → E (63)		
	キュービクル③	L-107	調光盤 (スタジオ2) 分電盤	1φ3W 200/100V	(40.0)	600V EM-CET 100°	IE22°	ラック → G (82)		
	キュービクル③	L-108	3L-4 分電盤	1φ3W 200/100V	6.0	600V EM-CET 38°	IE5.5°	ラック → E (63)		
	キュービクル④	L-201	2L-1 分電盤	1φ3W 200/100V	32.39	600V EM-CET 60°	IE14°	ラック → E (63)		
	キュービクル④	L-202	2L-1 分電盤	1φ3W 200/100V	31.89	600V EM-CET 60°	IE14°	ラック → E (63)		
	キュービクル④	L-203	3TL-1 分電盤	1φ3W 200/100V	23.20	600V EM-CET 38°	IE14°	ラック → E (63)		
	キュービクル④	L-204	4L-1 分電盤	1φ3W 200/100V	33.74	600V EM-CET 60°	IE14°	ラック → E (63)		
	キュービクル④	L-205	3L-2 (ホール) 分電盤	1φ3W 200/100V	6.0	600V EM-CET 38°	IE5.5°	ラック → E (63)		
	キュービクル④	L-206	調光盤 (ホール) 分電盤	1φ3W 200/100V	(40.0)	600V EM-CET 150°	IE22°	ラック → G (92)		
	キュービクル④	L-207	1TL-1 (1Fテナント) 分電盤	1φ3W 200/100V	30.0	600V EM-CET 100°	IE22°	ラック → G (82)		
	キュービクル④	L-208	2L-2 分電盤	1φ3W 200/100V	6.0	600V EM-CET 38°	IE5.5°	ラック → G (63)		
動力幹線	キュービクル⑤	P-201	B1P-1 動力盤	3φ3W 200	42.77	600V EM-CET 100°	IE22°	ラック → G (82)		
	キュービクル⑤	P-202	1P-1 動力盤	3φ3W 200	4.12	600V EM-CET 14°	IE2.0	ラック → E (51)		
	キュービクル⑤	P-203	2P-1 動力盤	3φ3W 200	46.73	600V EM-CET 100°	IE22°	ラック → E (82)		
	キュービクル⑤	P-204	2P-2 動力盤	3φ3W 200	40.5	600V EM-CET 100°	IE22°	ラック → G (82)		
	キュービクル⑤	P-205	2P-2 動力盤	3φ3W 200	22.6	600V EM-CET 60°	IE14°	ラック → E (63)		
	キュービクル⑤	P-206	3P-1 動力盤	3φ3W 200	3.05	600V EM-CE 8° -3C	IE2.0	ラック → E (39)		
	キュービクル⑤	P-207	4P-1 動力盤	3φ3W 200	2.22	600V EM-CE 5.5° -3C	IE2.0	ラック → E (31)		
	キュービクル⑤	P-208	4P-2 動力盤	3φ3W 200	7.30	600V EM-CET 14°	IE5.5°	ラック → E (39)		
	キュービクル⑤	P-209	RP-1 動力盤	3φ3W 200	36.5	600V EM-CET 60°	IE22°	ラック → G (70)		
	キュービクル⑤	P-210	RP-1 動力盤	3φ3W 200	37.5	600V EM-CET 60°	IE22°	ラック → G (70)		
	キュービクル⑤	P-211	RP-2 動力盤	3φ3W 200	45.0	600V EM-CET 60°	IE22°	ラック → G (70)		
	キュービクル⑤	P-212	ELV (1) 動力盤	3φ3W 200	5.5	600V EM-CET 14°	IE5.5°	ラック → E (39)		
	キュービクル⑤	P-213	ELV (2) 動力盤	3φ3W 200	5.5	600V EM-CET 14°	IE5.5°	ラック → E (39)		
	キュービクル⑤	P-214	ELV (3) 動力盤	3φ3W 200	15.0	600V EM-CET 60°	IE8°	ラック → E (63)		
	キュービクル⑤	P-215	1TP-1 (1Fテナント) 動力盤	3φ3W 200	50.0	600V EM-CET 100°	IE22°	ラック → E (82)		
	キュービクル⑤	P-216	ホールの子制御盤	3φ3W 200	6.0	600V EM-CE 5.5° -3C	IE2.0	ラック → E (31)		
	キュービクル⑤	P-217	燻蒸制御盤	3φ3W 200	30.0	600V EM-CET 60°	IE22°	ラック → E (63)		
		1TP-1	2P-2	1階観光交流スペース	3φ3W 200	28.1	600V EM-CET 60°	IE22°	ラック → E (63)	

	自	至	負荷名称	電圧(V)	容量(kVA)	配線仕様	接地線	配管	備考	
警報線	キュービクル⑥	GL-1	ハロン制御盤	1φ3W 200/100V	1.0	600V EM-FPC 5.5° -3C	IE2.0	ラック → E (31)		
	キュービクル⑥	GL-2	B1L-1 (照明コンセント)	1φ3W 200/100V	2.14	600V EM-FPC 5.5° -3C	IE2.0	ラック → E (31)		
	キュービクル⑥	GL-3	1L-1 (照明コンセント)	1φ3W 200/100V	3.85	600V EM-FPC 8° -3C	IE2.0	ラック → E (39)		
	キュービクル⑥	GL-4								
	キュービクル⑥	GP-1	屋内消火栓ポンプ (FP-1)	3φ3W 200	5.5	600V EM-FPT 14°	IE5.5°	ラック → E (39)		
	キュービクル⑥	GP-2	屋内消火栓補助ポンプ (JP-1)	3φ3W 200	1.1	600V EM-FPC 5.5° -3C	IE2.0	ラック → E (31)		
	キュービクル⑥	GP-3	排煙ファン	3φ3W 200	5.5	600V EM-FPT 14°	IE5.5°	ラック → E (39)		
	キュービクル⑥	GP-4	B1P-3 (資料収蔵庫)	3φ3W 200	19.03	600V EM-FPT 60°	IE5.5°	ラック → E (63)		
	キュービクル⑥	GP-5	1P-2 (ハロン排気ファン)	3φ3W 200	0.35	600V EM-FPC 5.5° -3C	IE2.0	ラック → E (31)		
	発電機幹線・信号	K-1警報盤	B1P-1	B1P-1 一括警報	—	—	600V EM-CEE 2° -2C	—	ラック → E (25)	
K-1警報盤		1P-1	1P-1 一括警報	—	—	600V EM-CEE 2° -2C	—	ラック → E (25)		
K-1警報盤		2P-1	2P-1 一括警報	—	—	600V EM-CEE 2° -2C	—	ラック → E (25)		
K-1警報盤		2P-2	2P-2 一括警報	—	—	600V EM-CEE 2° -2C	—	ラック → G (22)		
K-1警報盤		3P-1	3P-1 一括警報	—	—	600V EM-CEE 2° -2C	—	ラック → E (25)		
K-1警報盤		4P-1	4P-1 一括警報	—	—	600V EM-CEE 2° -2C	—	ラック → E (25)		
K-1警報盤		4P-2	4P-2 一括警報	—	—	600V EM-CEE 2° -2C	—	ラック → E (25)		
K-1警報盤		RP-1	RP-1 一括警報	—	—	600V EM-CEE 2° -2C	—	ラック → G (22)		
K-1警報盤		RP-2	RP-2 一括警報	—	—	600V EM-CEE 2° -2C	—	ラック → G (22)		
K-1警報盤		1P-2	1P-2 一括警報	—	—	600V EM-CEE 2° -2C	—	ラック → G (28)		
K-1警報盤	キュービクル①	高圧受電盤 一括警報	—	—	600V EM-CEE 2° -2C	—	ラック → G (28)			
K-1警報盤	発電機	発電機 一括警報	—	—	600V EM-CEE 2° -2C	—	ラック → G (28)			
キュービクル⑤	発電機	発電機商用側	3φ3W 200	100	600V EM-FPT 200°	IE22°	G (104)	露出		
発電機	キュービクル⑥	発電機側	3φ3W 200	100	600V EM-FPT 200°	IE22°	G (104)	露出		
キュービクル①	発電機	商用側停電信号	—	—	600V EM-CEE 2° -2C	—	G (22)	露出		

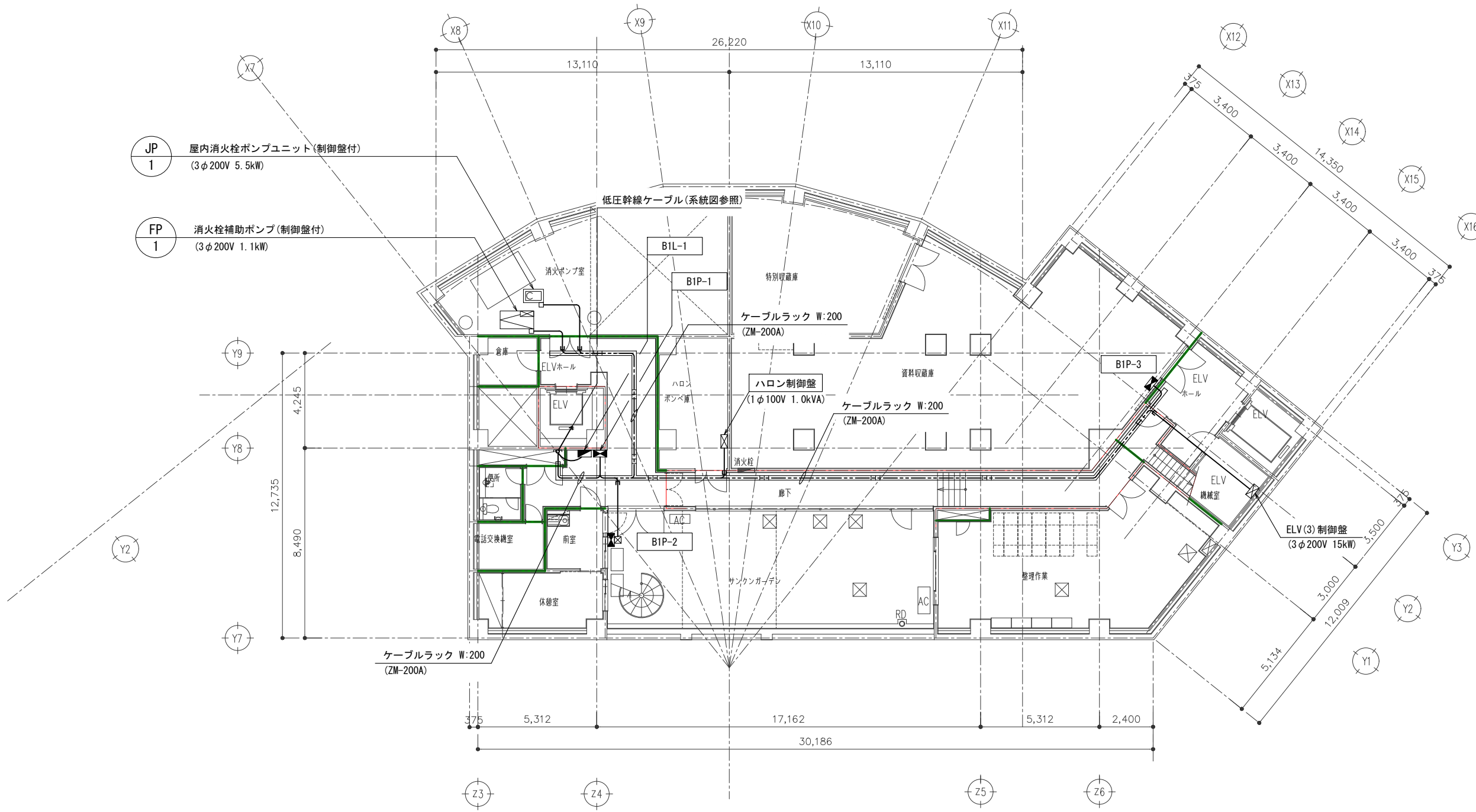
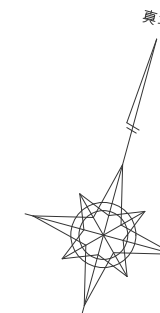


K-1 警報盤 (20L)



配線表

	自	至	負荷名称	電圧(V)	容量(kW)	配線仕様	接地線	配管	備考
動力2次側	B1P-1	B1P-2	B1P-2	幹線	3W200	5.372	600V EM-CE8 [®] -3C	IE2.0	G(36) → プリカ(38)



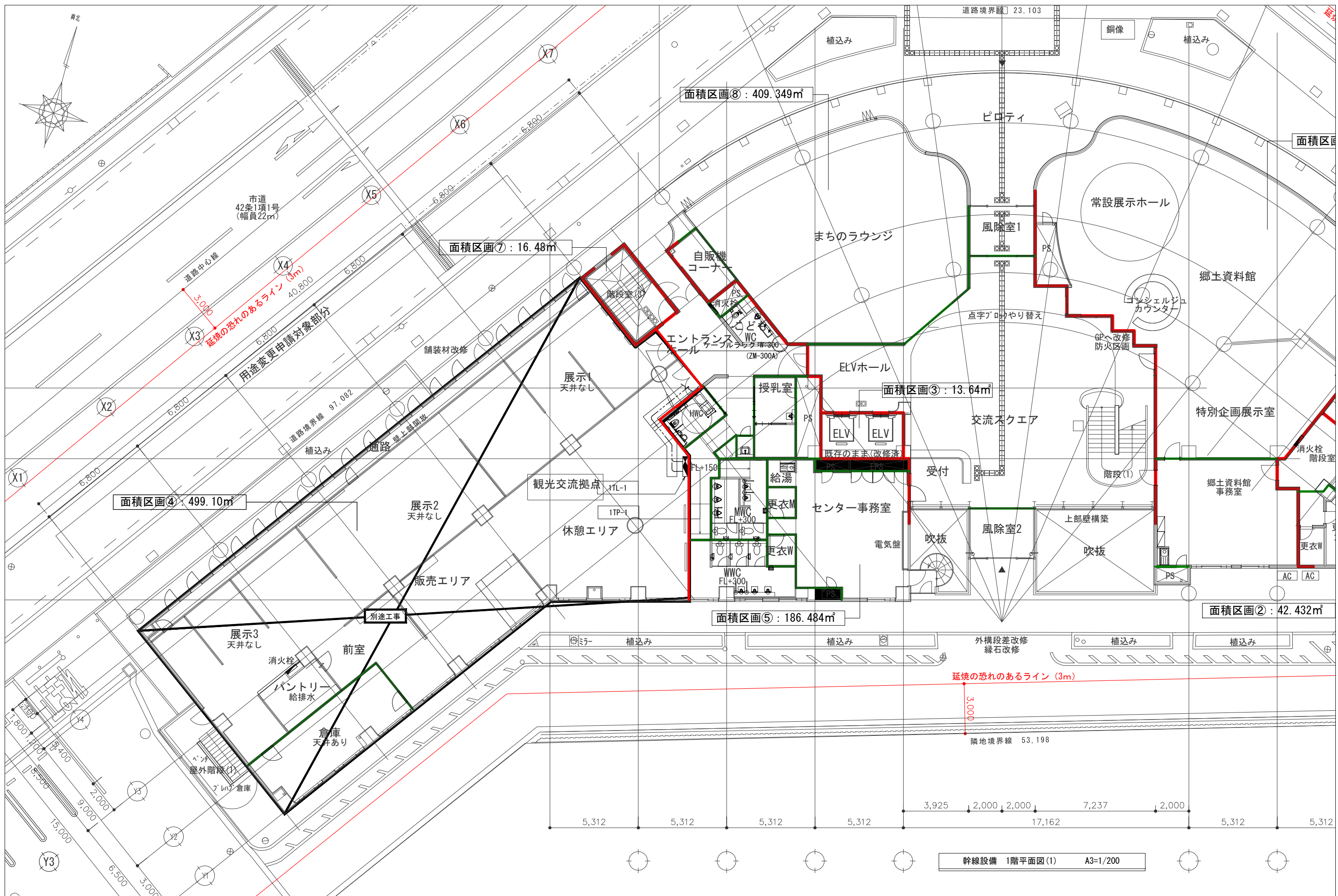
JP 1 屋内消火栓ポンプユニット(制御盤付)
(3φ200V 5.5kW)

FP 1 消火栓補助ポンプ(制御盤付)
(3φ200V 1.1kW)

幹線設備 地下1階平面図 A3=1/200

- 堅穴区画・面積区画・その他の区画(防煙区画を兼ねる)
(内装内仕切防火区画,スリット等)
- 堅穴区画(壁天井上不燃,床~天井)
- 防煙区画(壁天井上不燃,床~天井)
- 防火上主要な隔仕切り壁(防煙区画を兼ねる)
- 送電のおそれのあるライン

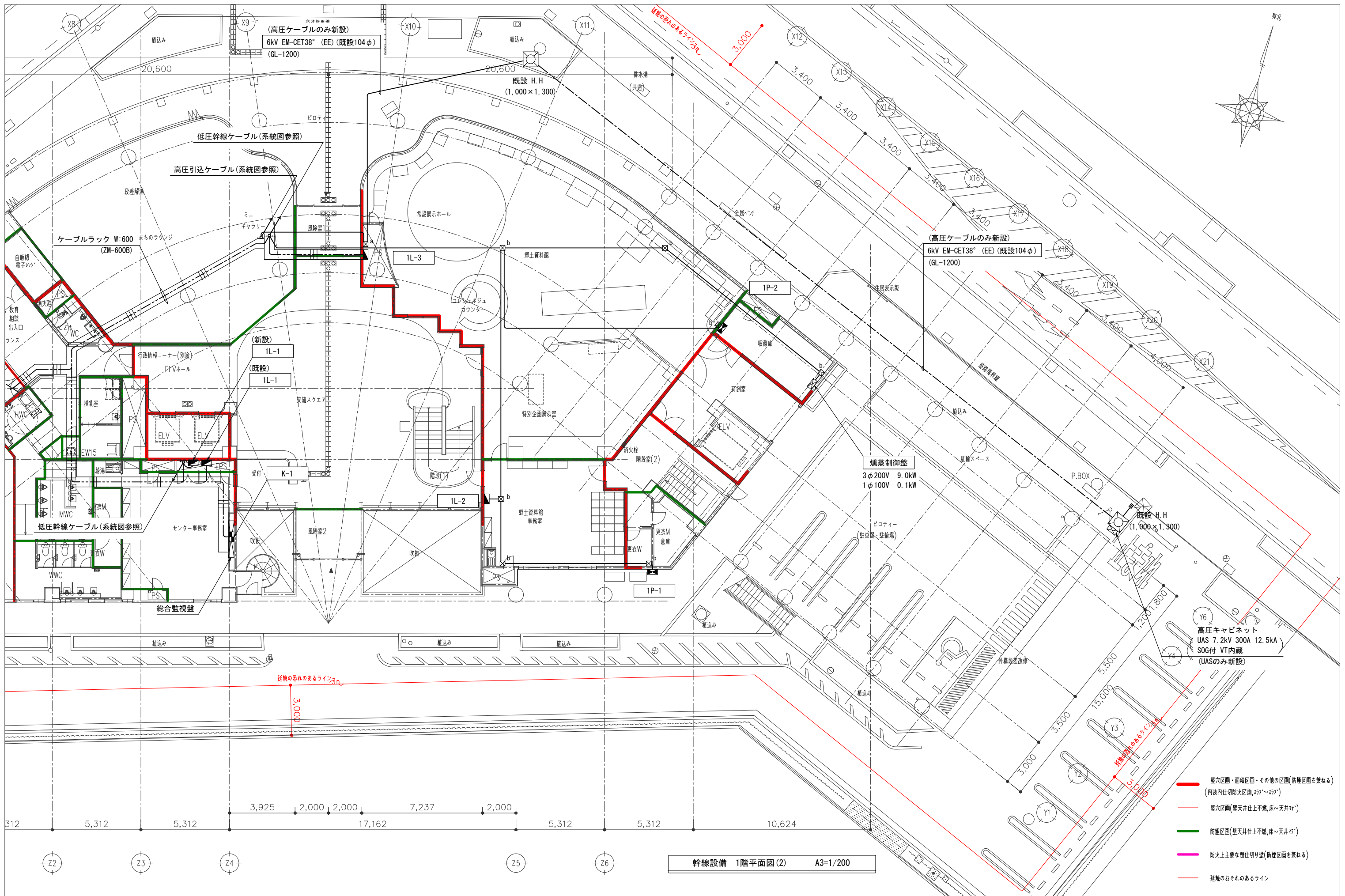
		春日部市	縮尺	工事名称	図名	図面番号
			A1 - 1:100 A3 - 1:200	(仮称) かすかべひがし交流センター整備工事	幹線設備 地下1階平面図	E-08



幹線設備 1階平面図(1) A3=1/200

縮尺	工事名称	図名	図面番号
A1 - 1:100 A3 - 1:200	(仮称) かすかべひがし交流センター整備工事	幹線動力設備 1階平面図(1)	E-09

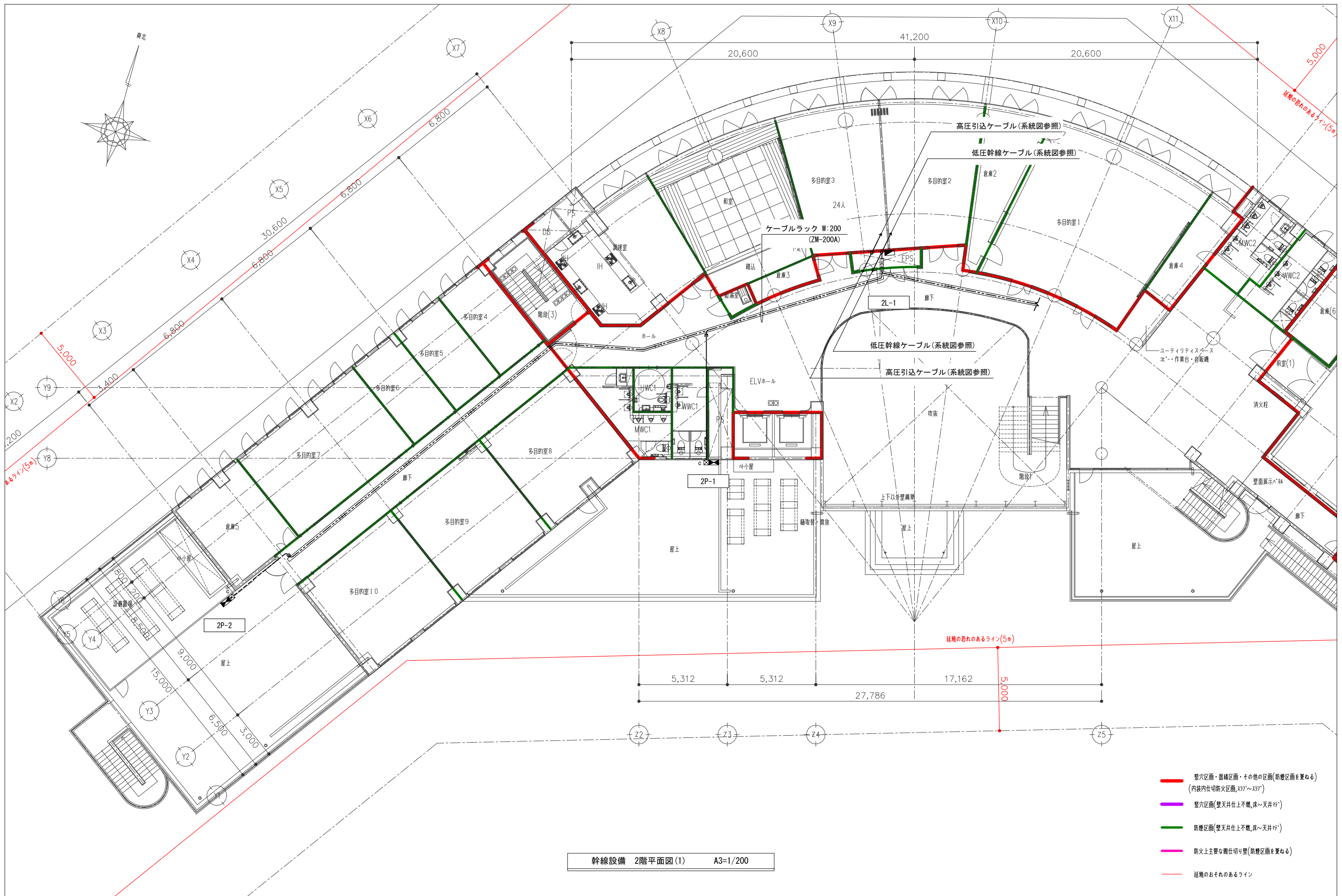
春日部市



- 壁穴区画・面積区画・その他の区画(防煙区画を兼ねる)
(内装内仕切防火区画, ｽﾌﾟﾗ～ｽﾌﾟﾗ)
- 壁穴区画(壁天井仕上不燃, 床～天井行)
- 防煙区画(壁天井仕上不燃, 床～天井行)
- 防火上主要な仕切り壁(防煙区画を兼ねる)
- 延焼のおそれのあるライン

幹線設備 1階平面図(2) A3=1/200

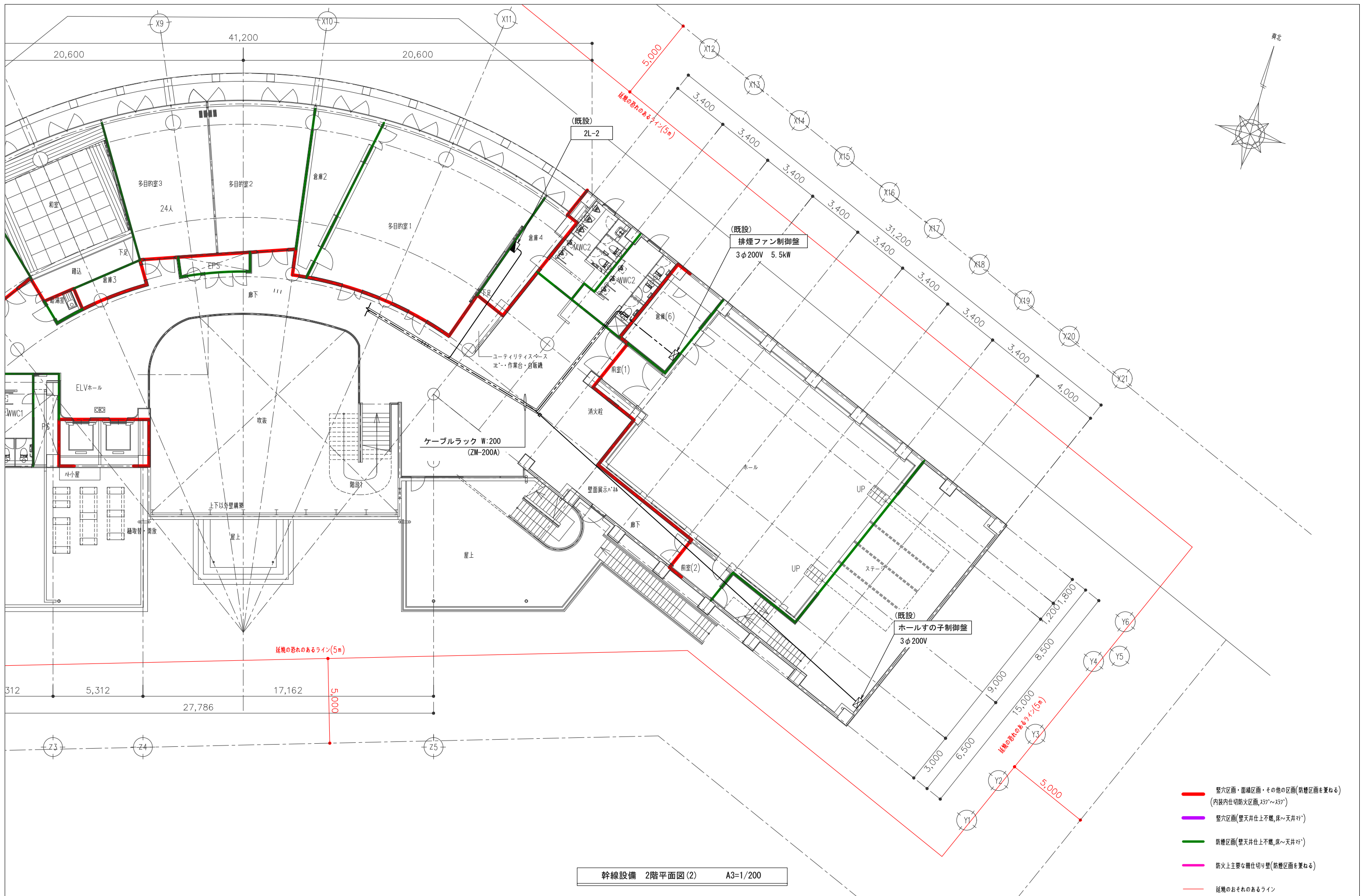
		春日部市	縮尺	工事名称	図名	図面番号
			A1 - 1:100 A3 - 1:200	(仮称) かすかべひがし交流センター整備工事	幹線動力設備 1階平面図(2)	E-10



幹線設備 2階平面図(1) A3=1/200

- 縦穴区画・面積区画・その他の区画(防煙区画を兼ねる)
(内装内仕切防火区画,スカーフ~スカーフ)
- 縦穴区画(雙天井仕上不燃,床~天井行)
- 防煙区画(雙天井仕上不燃,床~天井行)
- 防火上主要な隔仕切り壁(防煙区画を兼ねる)
- 延焼の恐れのあるライン

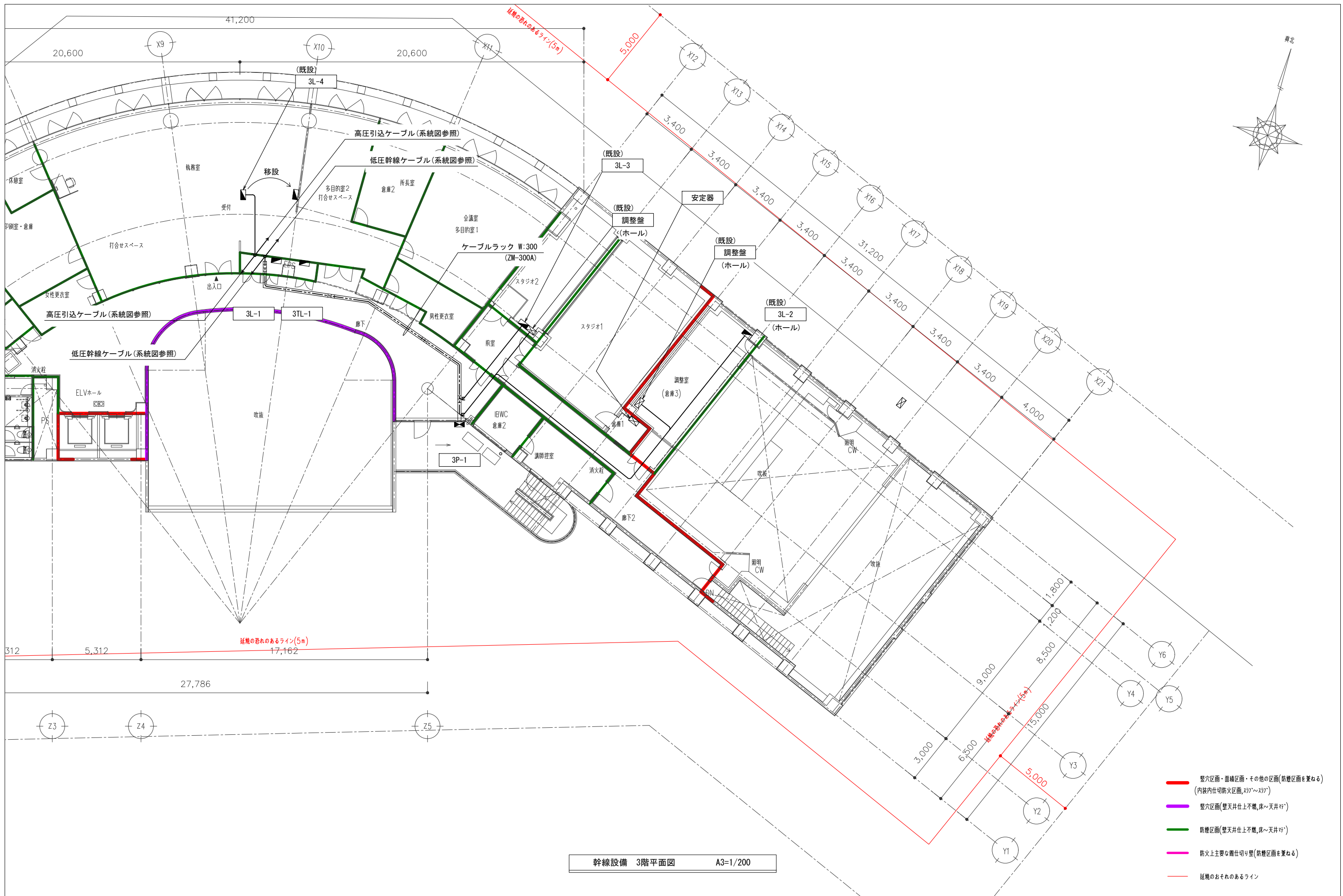
		縮尺	工事名称	図名	図面番号
	春日部市	A1 - 1:100 A3 - 1:200	(仮称) かすかべひがし交流センター整備工事	幹線動力設備 2階平面図(1)	E-11



幹線設備 2階平面図(2) A3=1/200

- 堅穴区画・面積区画・その他の区画(防煙区画を兼ねる)
(内装内仕切防火区画, スリット)
- 堅穴区画(壁天井上不燃, 床~天井)
- 防煙区画(壁天井上不燃, 床~天井)
- 防火上主要な壁仕切り壁(防煙区画を兼ねる)
- 送風のおそれのあるライン

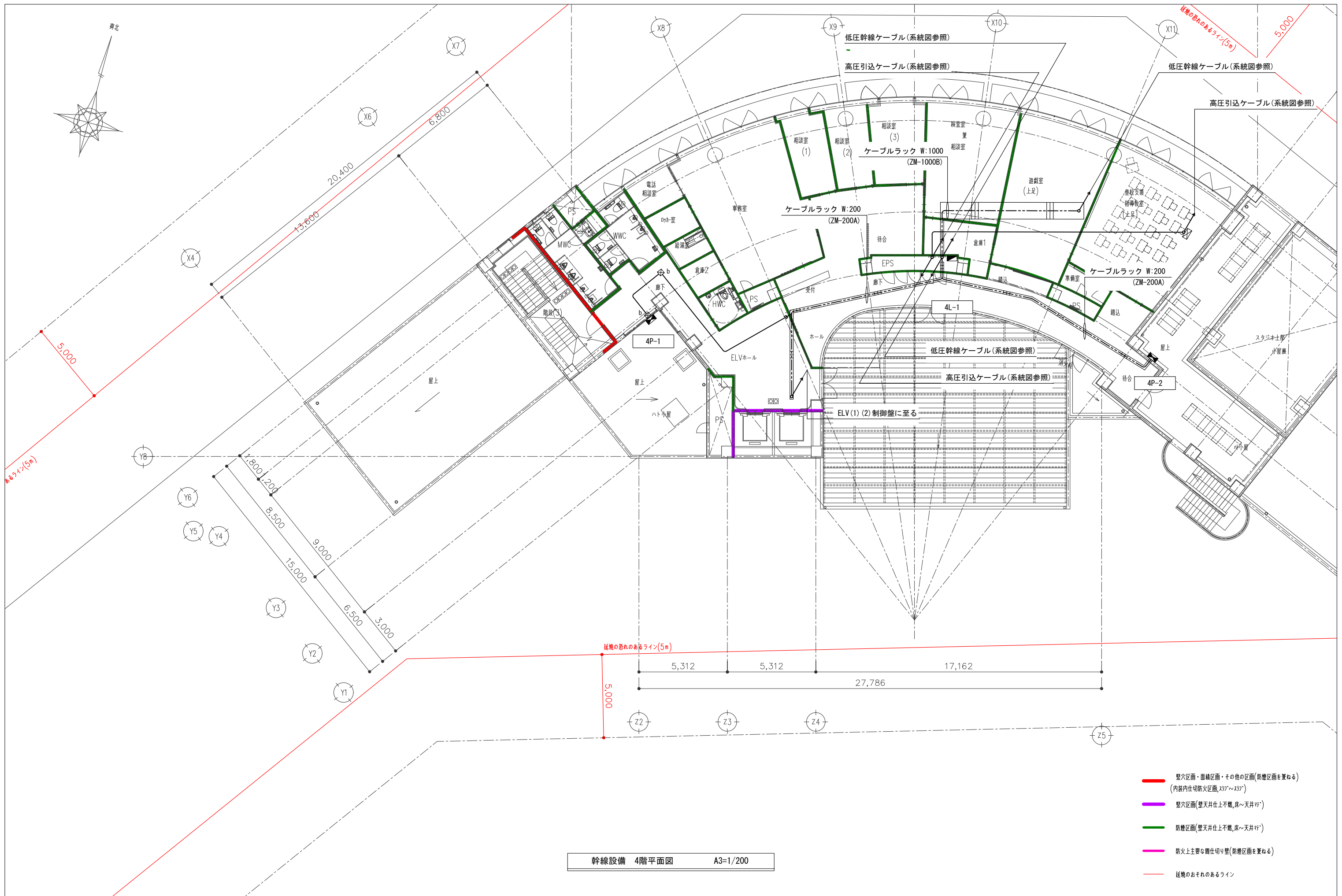
		春日部市	縮尺	工事名称	図名	図面番号
			A1 - 1:100 A3 - 1:200	(仮称) かすかべひがし交流センター整備工事	幹線動力設備 2階平面図(2)	E-12



幹線設備 3階平面図 A3=1/200

- 堅穴区画・面積区画・その他の区画(防煙区画を兼ねる)
(内装内仕切防火区画,スリット等)
- 堅穴区画(壁天井上上不燃,床~天井)
- 防煙区画(壁天井上上不燃,床~天井)
- 防火上主要な隔仕切り壁(防煙区画を兼ねる)
- 送機のおそれのあるライン

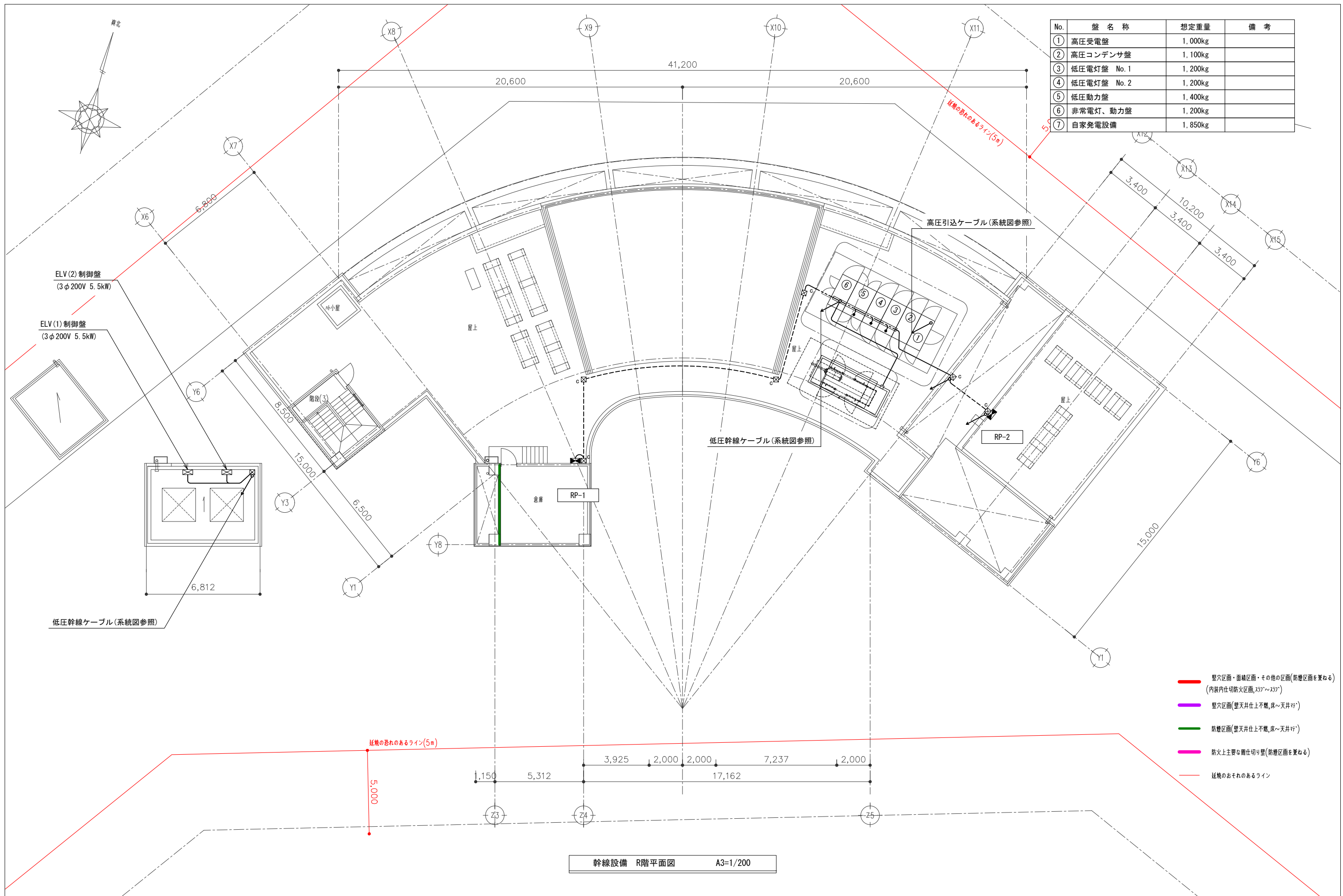
		縮尺	工事名称	図名	図面番号
	春日部市	A1 - 1:100 A3 - 1:200	(仮称) かすかべひがし交流センター整備工事	幹線動力設備 3階平面図	E-13



幹線設備 4階平面図 A3=1/200

- 壁穴区画・面積区画・その他の区画(防煙区画を兼ねる)
(内装内仕切防火区画, 337A~337F)
- 壁穴区画(壁天井上不燃, 床~天井行)
- 防煙区画(壁天井上不燃, 床~天井行)
- 防火上主要な囲仕切り壁(防煙区画を兼ねる)
- 延焼のおそれのあるライン

		春日部市	縮尺	工事名称	図名	図面番号
			A1 - 1:100 A3 - 1:200	(仮称) かすかべひがし交流センター整備工事	幹線動力設備 4階平面図	E-14



No.	盤名称	想定重量	備考
①	高圧受電盤	1,000kg	
②	高圧コンデンサ盤	1,100kg	
③	低圧電灯盤 No. 1	1,200kg	
④	低圧電灯盤 No. 2	1,200kg	
⑤	低圧動力盤	1,400kg	
⑥	非常電灯、動力盤	1,200kg	
⑦	自家発電設備	1,850kg	

- 壁穴区画・面積区画・その他の区画(防煙区画を兼ねる)
(内装内仕切防火区画,ｽﾌｯﾌﾞｽﾌｯﾌﾞ)
- 壁穴区画(壁天井仕上不燃,床～天井行)
- 防煙区画(壁天井仕上不燃,床～天井行)
- 防火上主要な階仕切り壁(防煙区画を兼ねる)
- 延焼のおそれのあるライン

幹線設備 R階平面図 A3=1/200

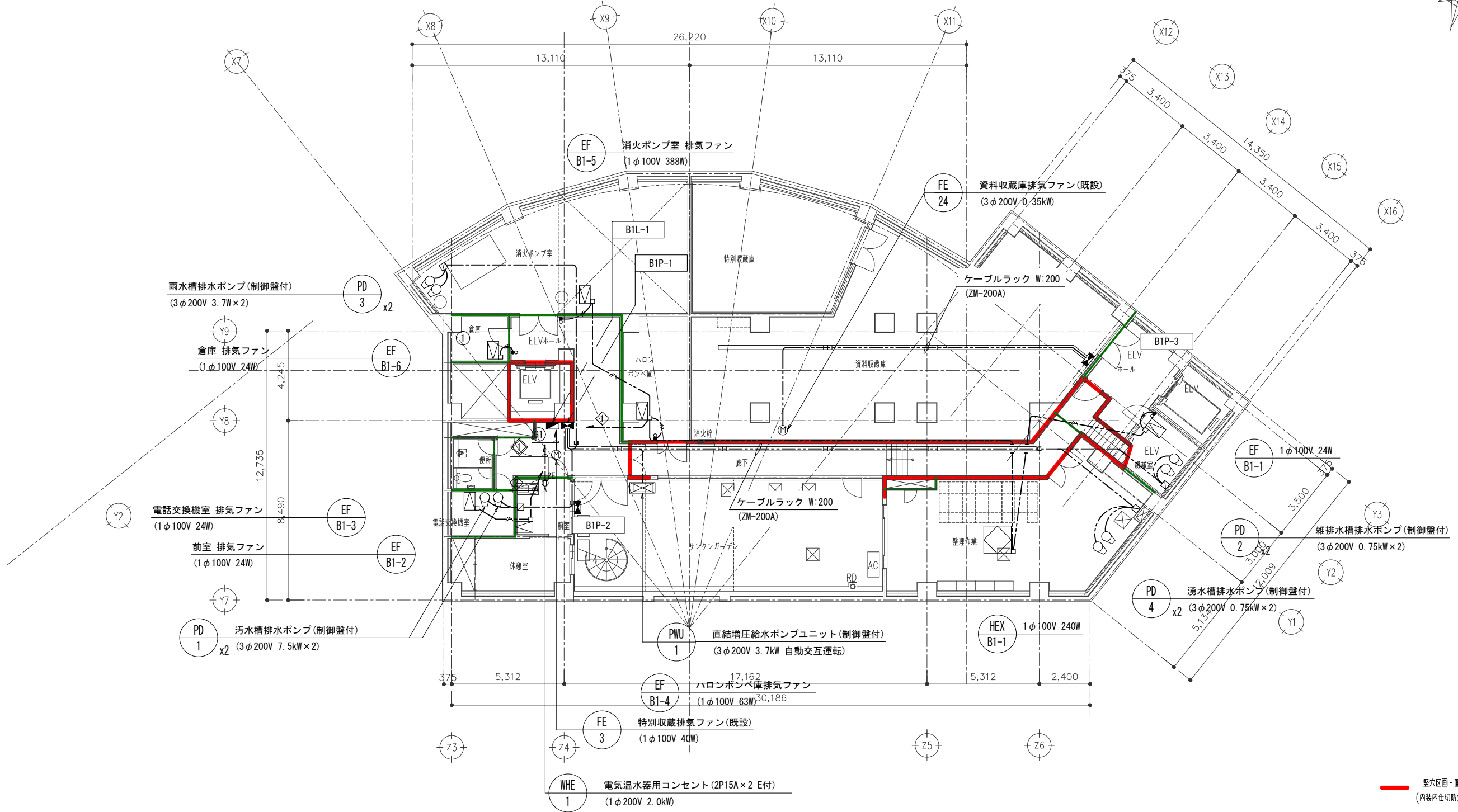
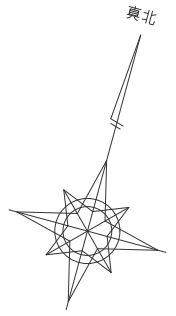
	春日部市	工事名称	縮尺	図名	図面番号
			A1 - 1:100 A3 - 1:200		

配線表

	自	至	負荷名称	電圧(V)	容量(kW)	配線仕様	接地線	配管	備考
動力2次側	B1P-1	PD-1	汚水槽排水ポンプ	3W200	7.5×2	600V EM-CET22°	IE5.5°	E(51)	
	B1P-1	PD-2	雑排水槽排水ポンプ	3W200	0.75×2	600V EM-CET14°	IE5.5°	E(51)	
	B1P-1	PWU-1	直結増圧給水ポンプユニット	3W200	3.7	600V EM-CET14°	IE5.5°	E(51)	
	B1P-3	FE-24	資料収蔵庫排気ファン	3W200	0.35	600V EM-CE3.5°-3C	IE2.0	PF(22)	
	B1L-1	FE-3	特別収蔵庫排気ファン	1W100	40W	600V EM-CE5.5°-3C	内1C7-ス	PF(22)	
	B1P-1	PD-3	雨水槽排水ポンプ	3W200	3.7×2	600V EM-CET14°	IE5.5°	E(51)	
	B1P-1	PD-4	湧水槽排水ポンプ	3W200	0.75×2	600V EM-CET14°	IE5.5°	E(51)	

注) 特記なき配管配線は下記による。

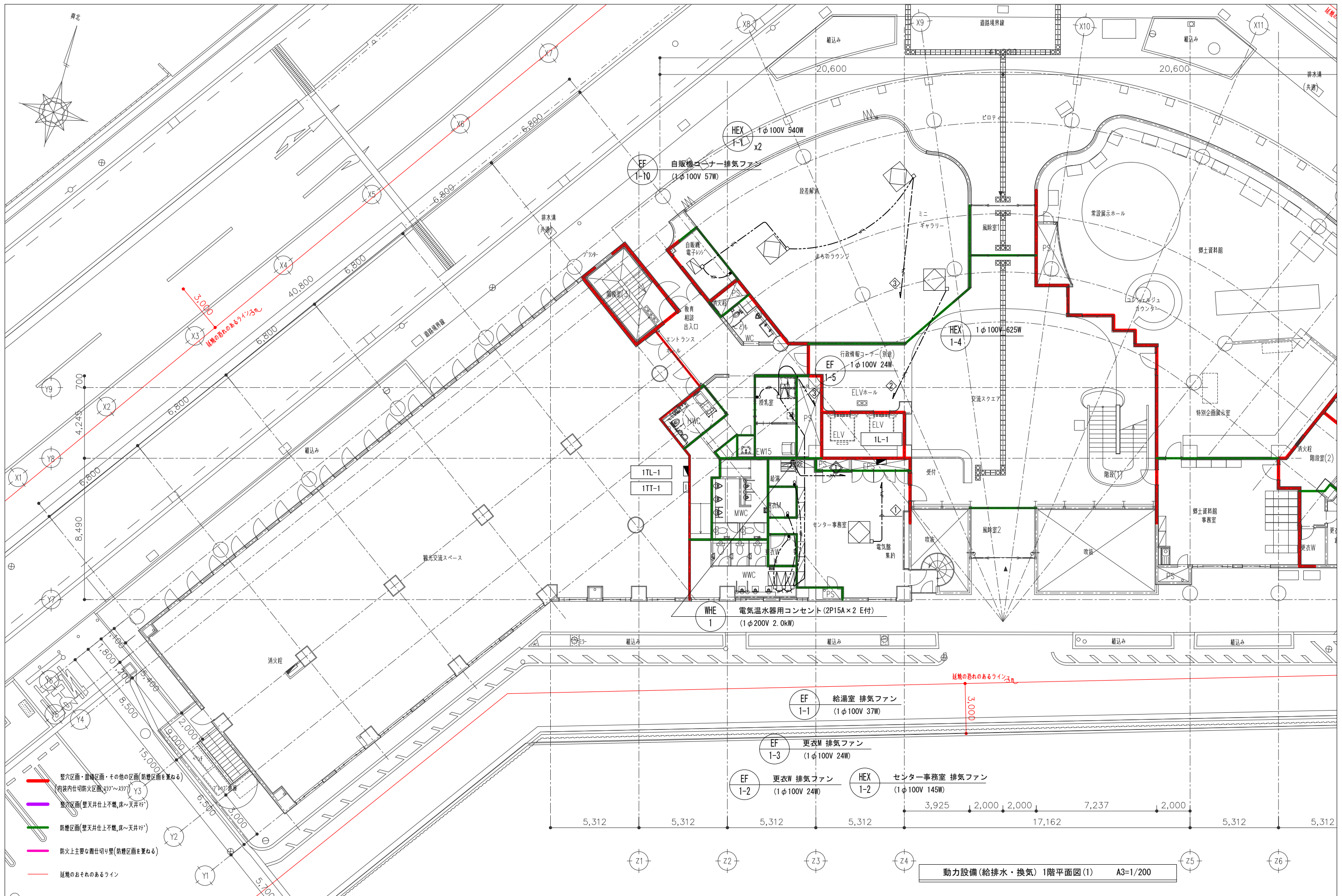
- EM-EEF2.0-3C(内1Cアース)天井ころがし
- EM-EEF2.0-3C PF(22) いんべい
- EM-EEF2.0-3C(内1Cアース)PF(22) 立上、立下り部分



動力設備(給排水・換気)地下1階平面図 A3=1/200

- 堅穴区画・面積区画・その他の区画(防煙区画を兼ねる)
(内装内仕切防火区画,スリット)
- 堅穴区画(壁天井上不燃,床~天井)
- 防煙区画(壁天井上不燃,床~天井)
- 防火上主要な隔仕切り壁(防煙区画を兼ねる)
- 送風のおそれのあるライン

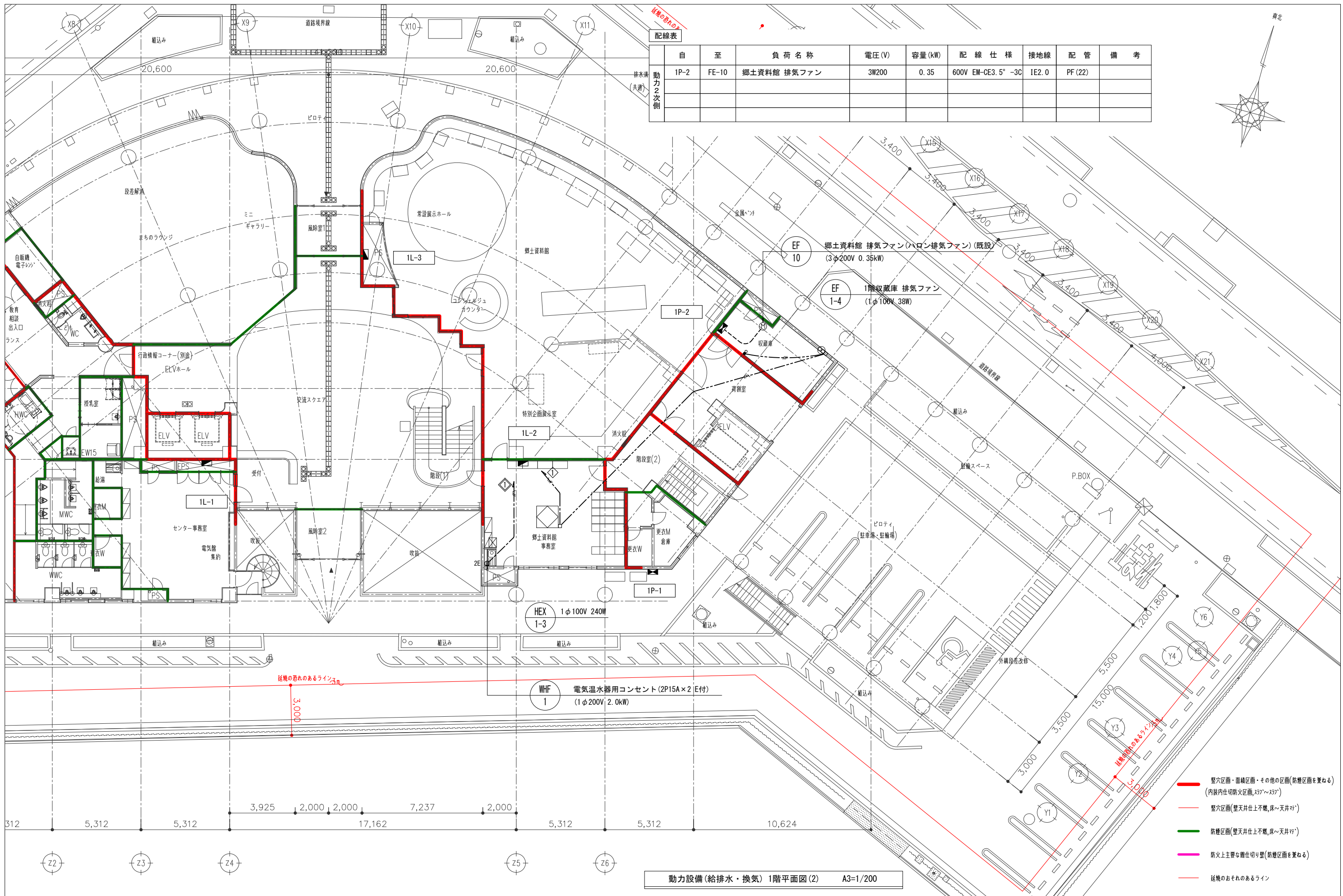
縮尺	工事名称	図名	図面番号
A1 - 1:100 A3 - 1:200	(仮称) かすかべひがし交流センター整備工事	動力設備(給排水・換気)地下1階平面図	E-16



- 壁区画・面識区画・その他の区画(防煙区画を兼ねる)
内装内仕切防火区画(377~377) Y3
- 壁区画(壁天井上不燃,床~天井下)
- 防煙区画(壁天井上不燃,床~天井下)
- 防火上主要な間仕切り壁(防煙区画を兼ねる)
- 延焼のおそれのあるライン

動力設備(給排水・換気)1階平面図(1) A3=1/200

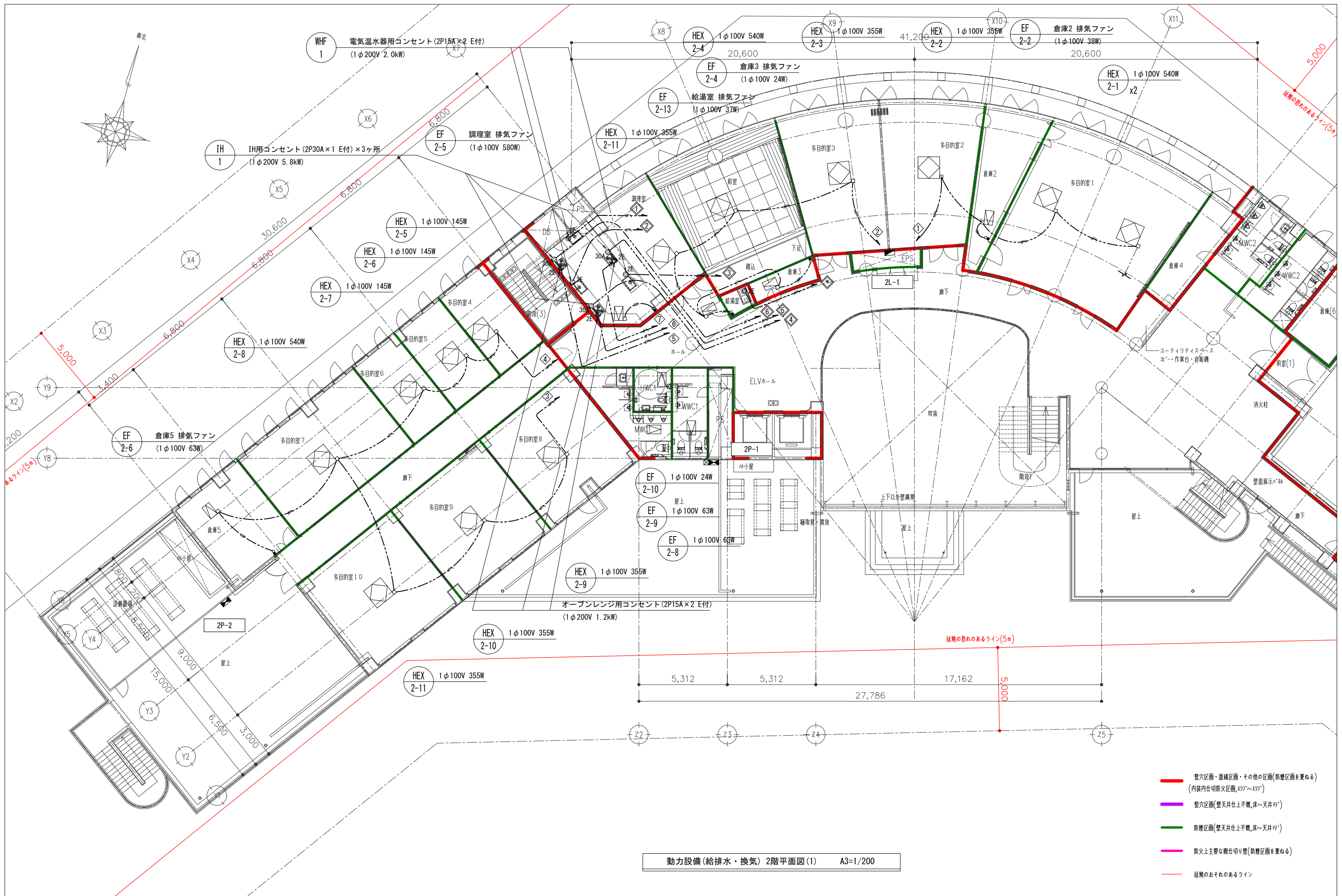
縮尺	工事名称	図名	図面番号
A1 - 1:100 A3 - 1:200	(仮称) かすかべひがし交流センター整備工事	動力設備(給排水・換気)1階平面図(1)	E-17



配線表		自	至	負荷名称	電圧(V)	容量(kW)	配線仕様	接地線	配管	備考
動力2次側	1P-2	FE-10	郷土資料館 排気ファン	3W200	0.35	600V EM-CE3.5° -3C	IE2.0	PF(22)		

動力設備(給排水・換気)1階平面図(2) A3=1/200

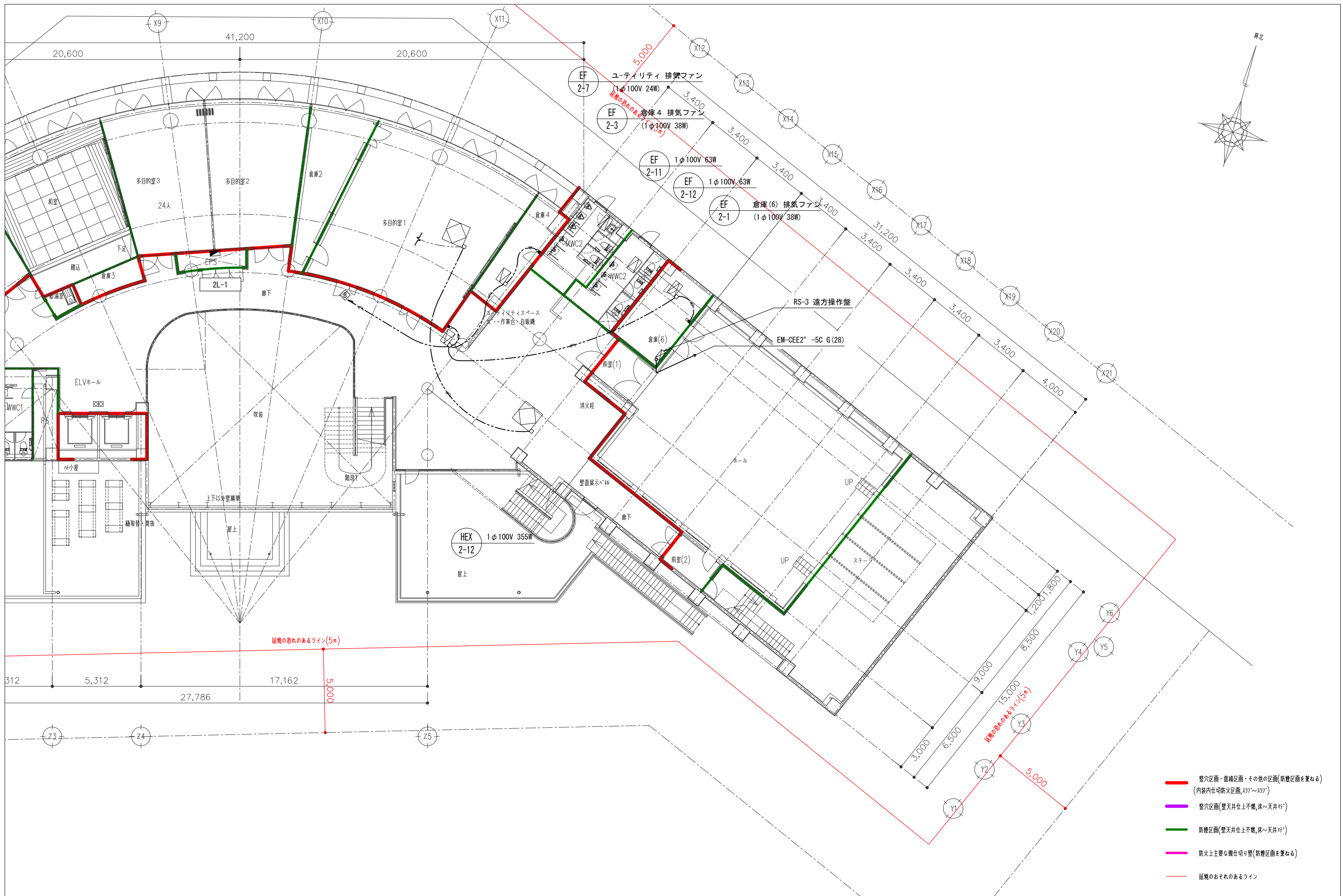
- 堅穴区画・面積区画・その他の区画(防煙区画を兼ねる)
(内装内仕切防火区画, A371~A372)
- 堅穴区画(壁天井仕上不燃, 床~天井行)
- 防煙区画(壁天井仕上不燃, 床~天井行)
- 防火上主要な囲仕切り壁(防煙区画を兼ねる)
- 延焼のおそれのあるライン



- 縦穴区画・面積区画・その他の区画(防煙区画を兼ねる)
(内装内仕切防火区画,スカーフ~スカーフ)
- 縦穴区画(壁天井上不燃,床~天井行)
- 防煙区画(壁天井上不燃,床~天井行)
- 防火上主要な隔仕切り壁(防煙区画を兼ねる)
- 延焼のおそれのあるライン

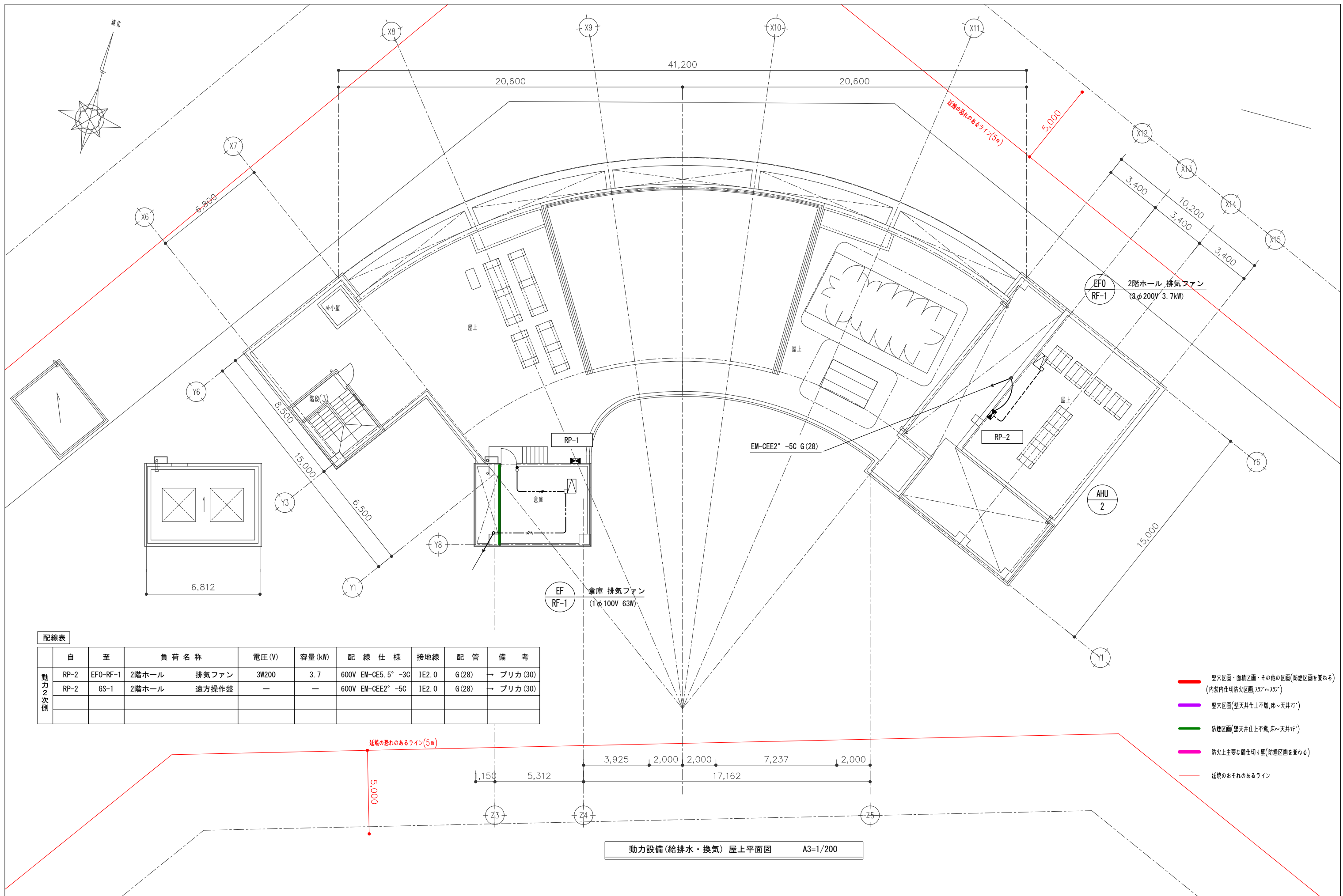
動力設備(給排水・換気)2階平面図(1) A3=1/200

縮尺	工事名称	図名	図面番号
A1 - 1:100 A3 - 1:200	(仮称) かすかべひがし交流センター整備工事	動力設備(給排水・換気)2階平面図(1)	E-19



- 堅穴区画・面積区画・その他の区画(防煙区画を兼ねる)
(内装内仕切防火区画, スリット)
- 堅穴区画(壁天井上不燃, 床~天井)
- 防煙区画(壁天井上不燃, 床~天井)
- 防火上主要な欄仕切り壁(防煙区画を兼ねる)
- 送電のおそれのあるライン

		春日部市	縮尺	工事名称	図名	図面番号
			A1 - 1:100 A3 - 1:200	(仮称) かすかべひがし交流センター整備工事	動力設備(給排水・換気)2階平面図(2)	E-20



配線表

	自	至	負荷名称	電圧(V)	容量(kW)	配線仕様	接地線	配管	備考
動力2次側	RP-2	EFO-RF-1	2階ホール 排気ファン	3W200	3.7	600V EM-CE5.5° -3C	IE2.0	G(28)	→ プリカ(30)
	RP-2	GS-1	2階ホール 遠方操作盤	-	-	600V EM-CEE2° -5C	IE2.0	G(28)	→ プリカ(30)

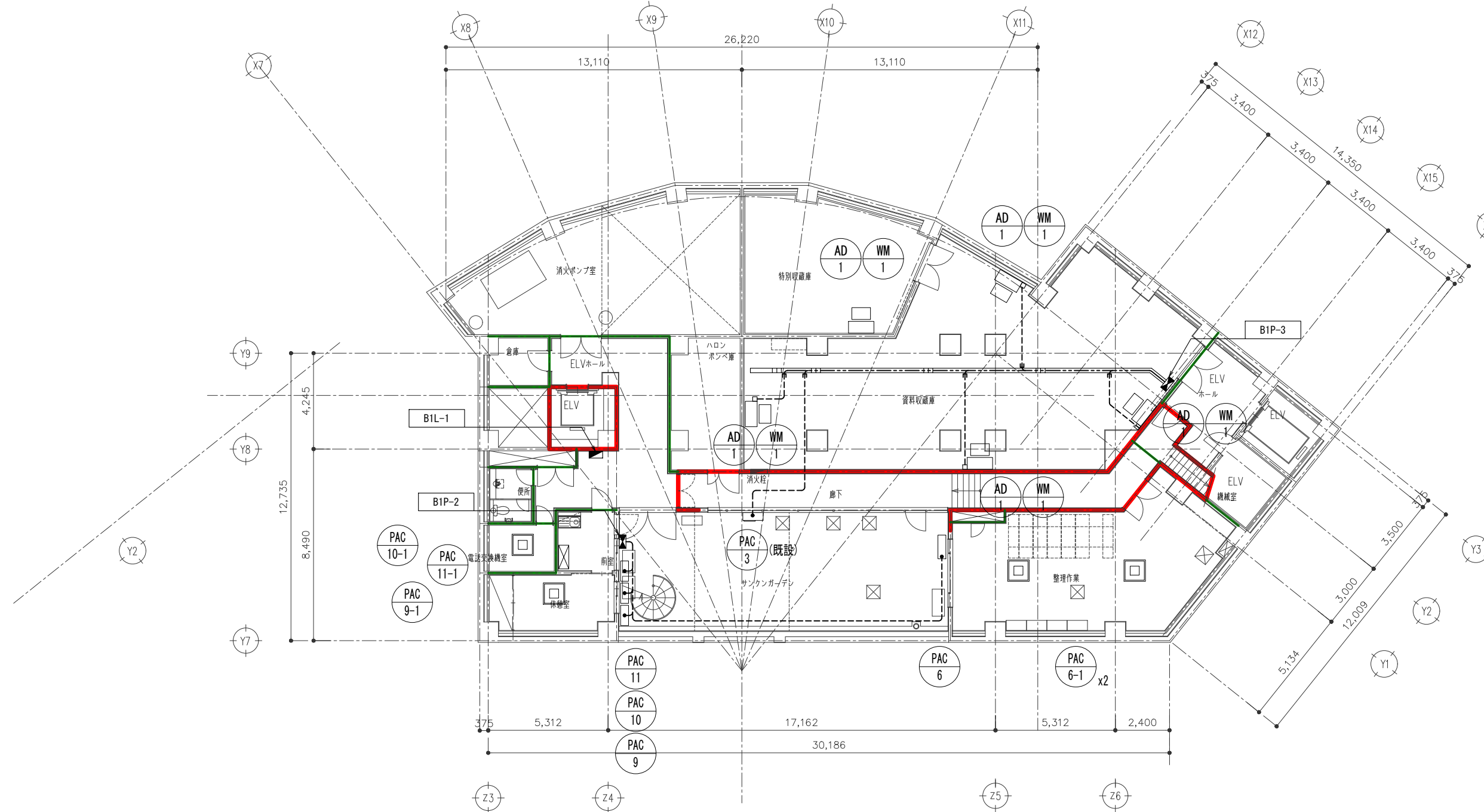
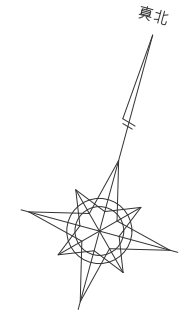
動力設備(給排水・換気)屋上平面図 A3=1/200

- 壁穴区画・面積区画・その他の区画(防煙区画を兼ねる)
(内装内仕切防火区画,ス77~ス77)
- 壁穴区画(壁天井仕上可燃,床~天井行)
- 防煙区画(壁天井仕上可燃,床~天井行)
- 防火上主要な隠仕切り壁(防煙区画を兼ねる)
- 延焼のおそれのあるライン

配線表

自	至	負荷名称	電圧(V)	容量(kW)	配線仕様	接地線	配管	備考
B1P-2	PAC-9	休憩室系空調機	3W200	0.705	600V EM-CE3.5°-3C	IE2.0	G(28) → 露出	
B1P-2	PAC-10	電話交換機室系空調機	3W200	0.705	600V EM-CE3.5°-3C	IE2.0	G(28) → 露出	
B1P-2	PAC-11	前室系空調機	3W200	0.992	600V EM-CE3.5°-3C	IE2.0	G(28) → 露出	
B1P-2	PAC-6	整理作業系空調機	3W200	2.97	600V EM-CE5.5°-3C	IE2.0	G(28) → 露出	

自	至	負荷名称	電圧(V)	容量(kW)	配線仕様	接地線	配管	備考
B1P-3	AD-1	資料収蔵庫除湿機	3W200	3.7	600V EM-CE5.5°-3C	IE2.0	E(31) 露出	
B1P-3	AD-1	資料収蔵庫除湿機	3W200	3.7	600V EM-CE5.5°-3C	IE2.0	E(31) 露出	
B1P-3	AD-1	資料収蔵庫除湿機	3W200	3.7	600V EM-CE5.5°-3C	IE2.0	E(31) 露出	
B1P-3	AD-1	資料収蔵庫除湿機	3W200	3.7	600V EM-CE5.5°-3C	IE2.0	E(31) 露出	
B1P-3	PAC-3	特別収蔵庫空調機	3W200	3.88	600V EM-CE5.5°-3C	IE2.0	E(31) 露出	

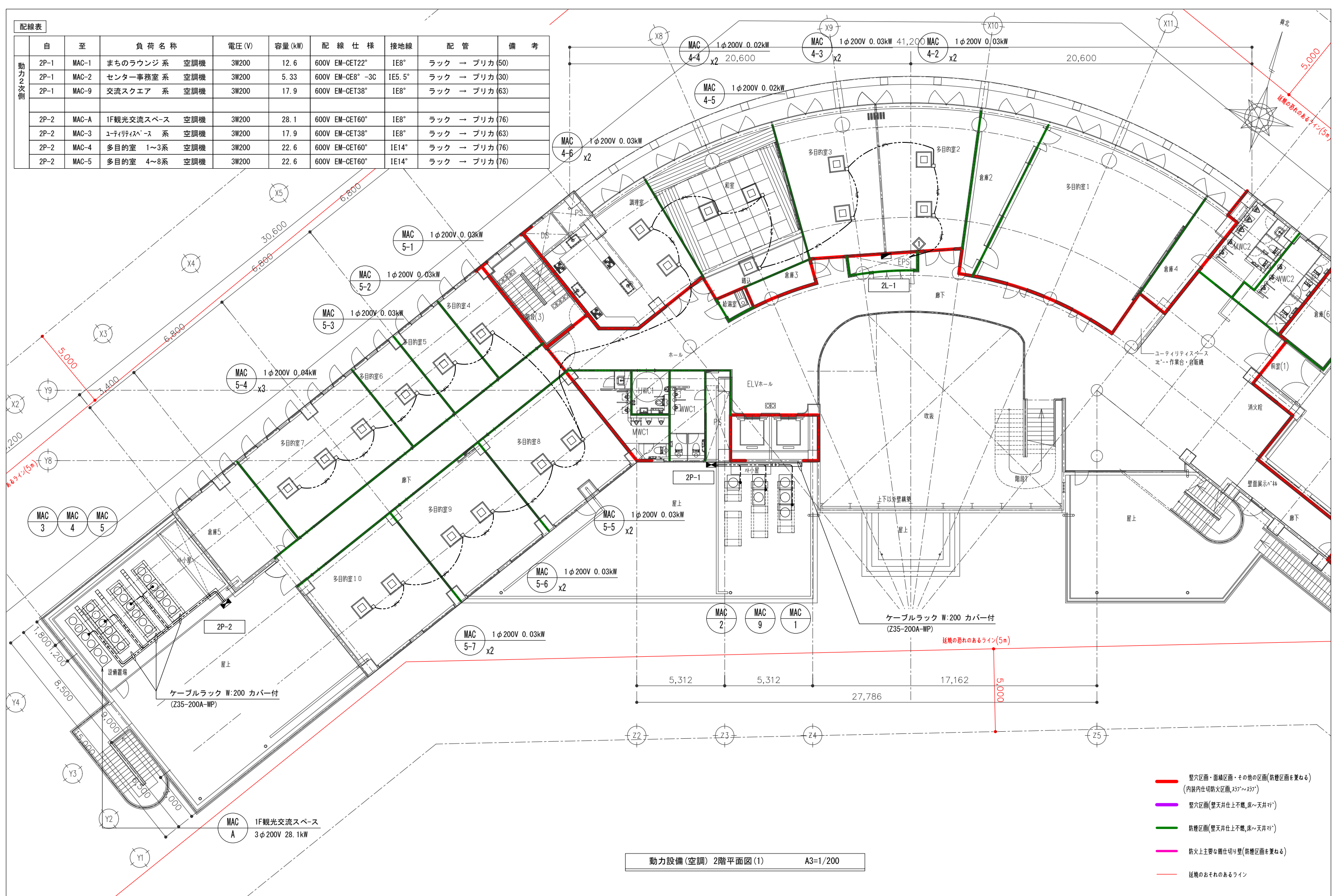


動力設備(空調) 地下1階平面図 A3=1/200

- 壁穴区画・面積区画・その他の区画(防煙区画を兼ねる)
(内装内仕切防火区画,ス70~ス70)
- 壁穴区画(壁天井上不燃,床~天井)
- 防煙区画(壁天井上不燃,床~天井)
- 防火上主要な開仕切り壁(防煙区画を兼ねる)
- 送風のおそれのあるライン

縮尺	工事名称	図名	図面番号
A1 - 1:100 A3 - 1:200	(仮称) かすかべひがし交流センター整備工事	動力設備(空調) 地下1階平面図	E-26

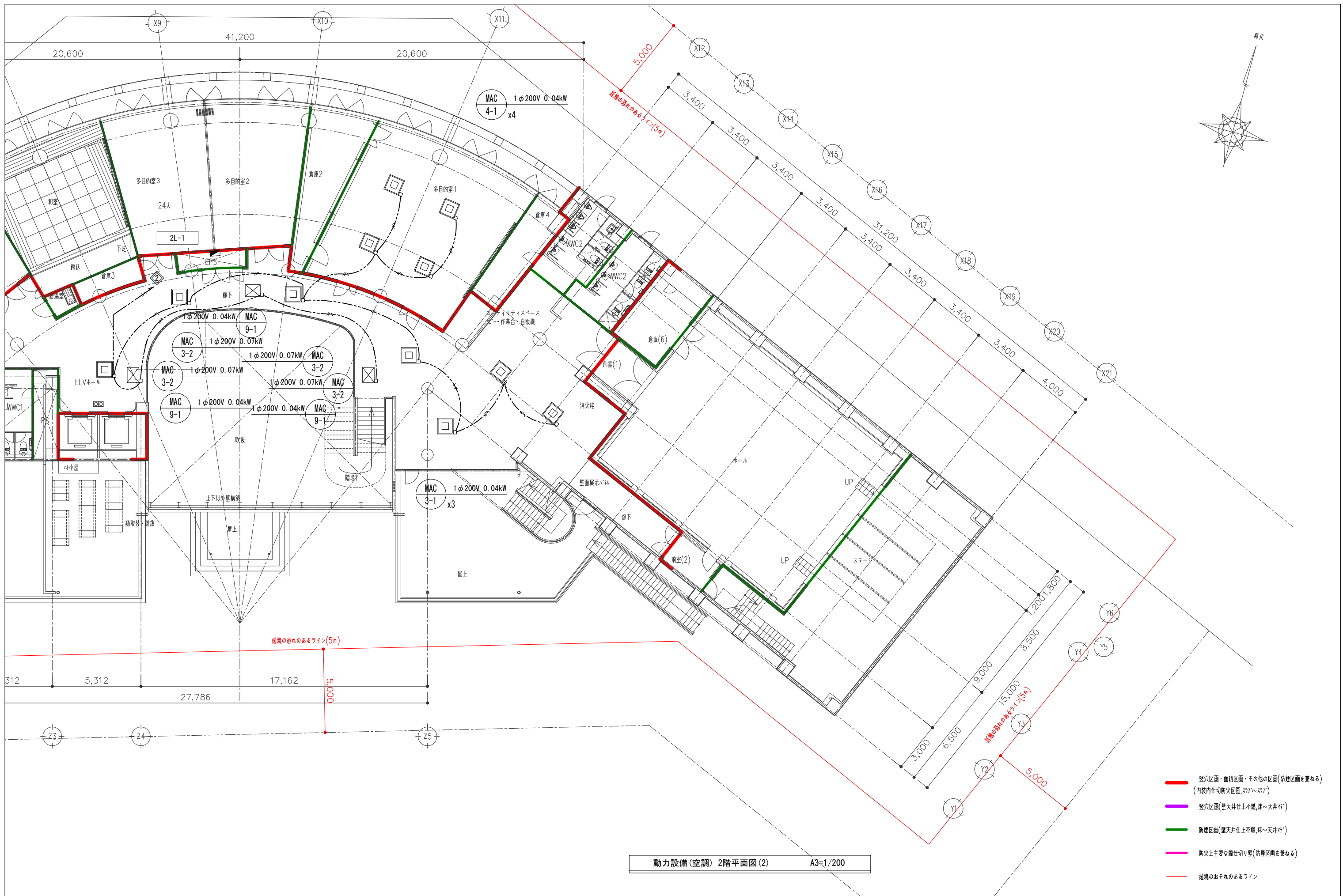
配線表									
	自	至	負荷名称	電圧(V)	容量(kW)	配線仕様	接地線	配管	備考
動力2次側	2P-1	MAC-1	まちのラウンジ系 空調機	3W200	12.6	600V EM-CET22°	IE8°	ラック → プリカ(50)	
	2P-1	MAC-2	センター事務室系 空調機	3W200	5.33	600V EM-CE8°-3C	IE5.5°	ラック → プリカ(30)	
	2P-1	MAC-9	交流スクエア系 空調機	3W200	17.9	600V EM-CET38°	IE8°	ラック → プリカ(63)	
	2P-2	MAC-A	1F観光交流スペース 空調機	3W200	28.1	600V EM-CET60°	IE8°	ラック → プリカ(76)	
	2P-2	MAC-3	ユーティリティスペース系 空調機	3W200	17.9	600V EM-CET38°	IE8°	ラック → プリカ(63)	
	2P-2	MAC-4	多目的室 1~3系 空調機	3W200	22.6	600V EM-CET60°	IE14°	ラック → プリカ(76)	
	2P-2	MAC-5	多目的室 4~8系 空調機	3W200	22.6	600V EM-CET60°	IE14°	ラック → プリカ(76)	



- 縦穴区画・面積区画・その他の区画(防煙区画を兼ねる)
(内装内仕切防火区画,スカーフ~スカーフ)
- 縦穴区画(壁天井上可燃,床~天井行)
- 防煙区画(壁天井上可燃,床~天井行)
- 防火上主要な隔仕切り壁(防煙区画を兼ねる)
- 延焼のおそれのあるライン

動力設備(空調)2階平面図(1) A3=1/200

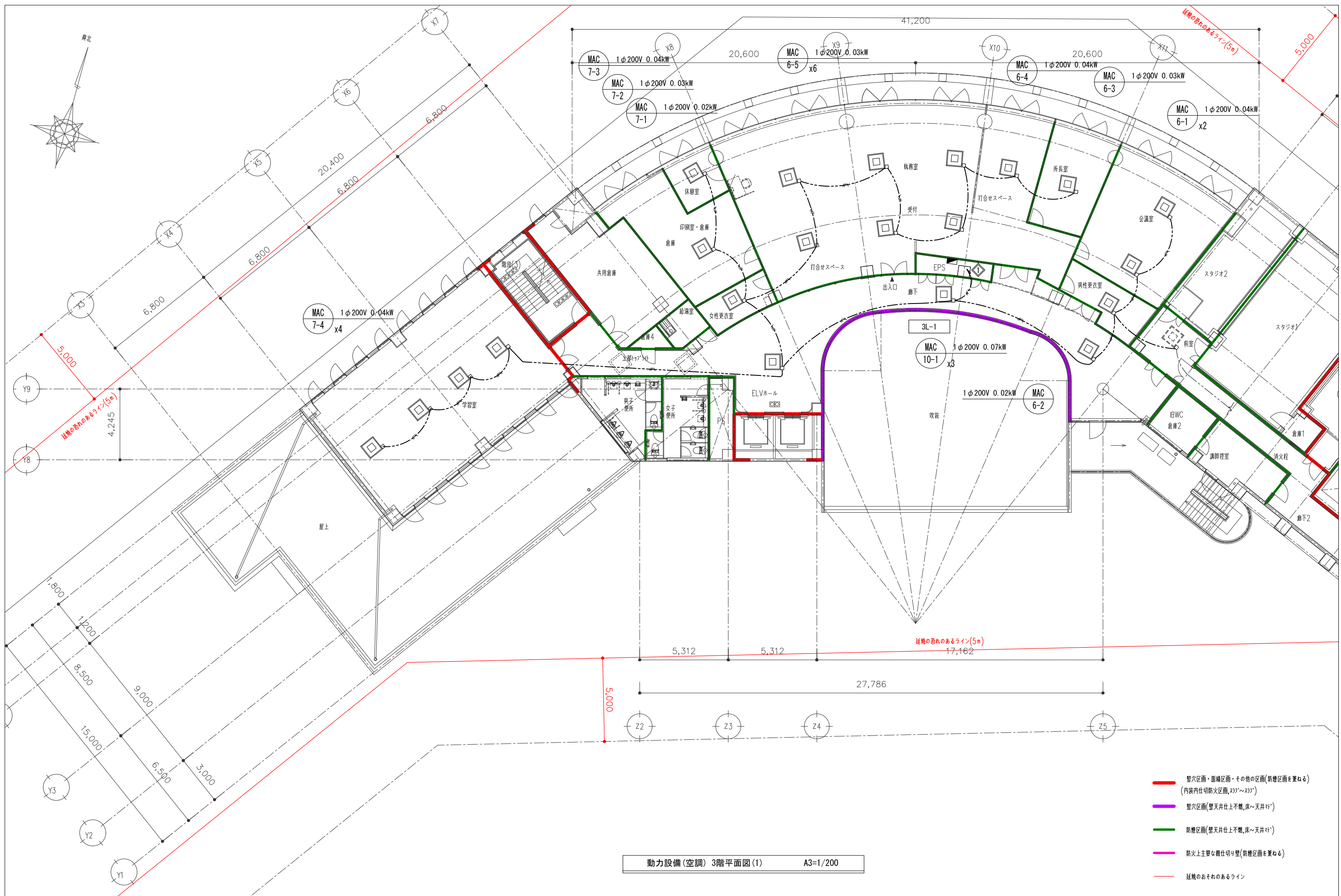
春日部市	縮尺 A1 - 1:100 A3 - 1:200	工事名称 (仮称) かすかべひがし交流センター整備工事	図名 動力設備(空調)2階平面図(1)	図面番号 E-29
------	--------------------------------	--------------------------------	------------------------	--------------



動力設備(空調) 2階平面図(2) A3=1/200

- 堅穴区画・面積区画・その他の区画(防煙区画を兼ねる)
(内装内仕切防火区画, スリット等)
- 堅穴区画(壁天井上不燃, 床~天井)
- 防煙区画(壁天井上不燃, 床~天井)
- 防火上主要な欄仕切り壁(防煙区画を兼ねる)
- 送電のおそれのあるライン

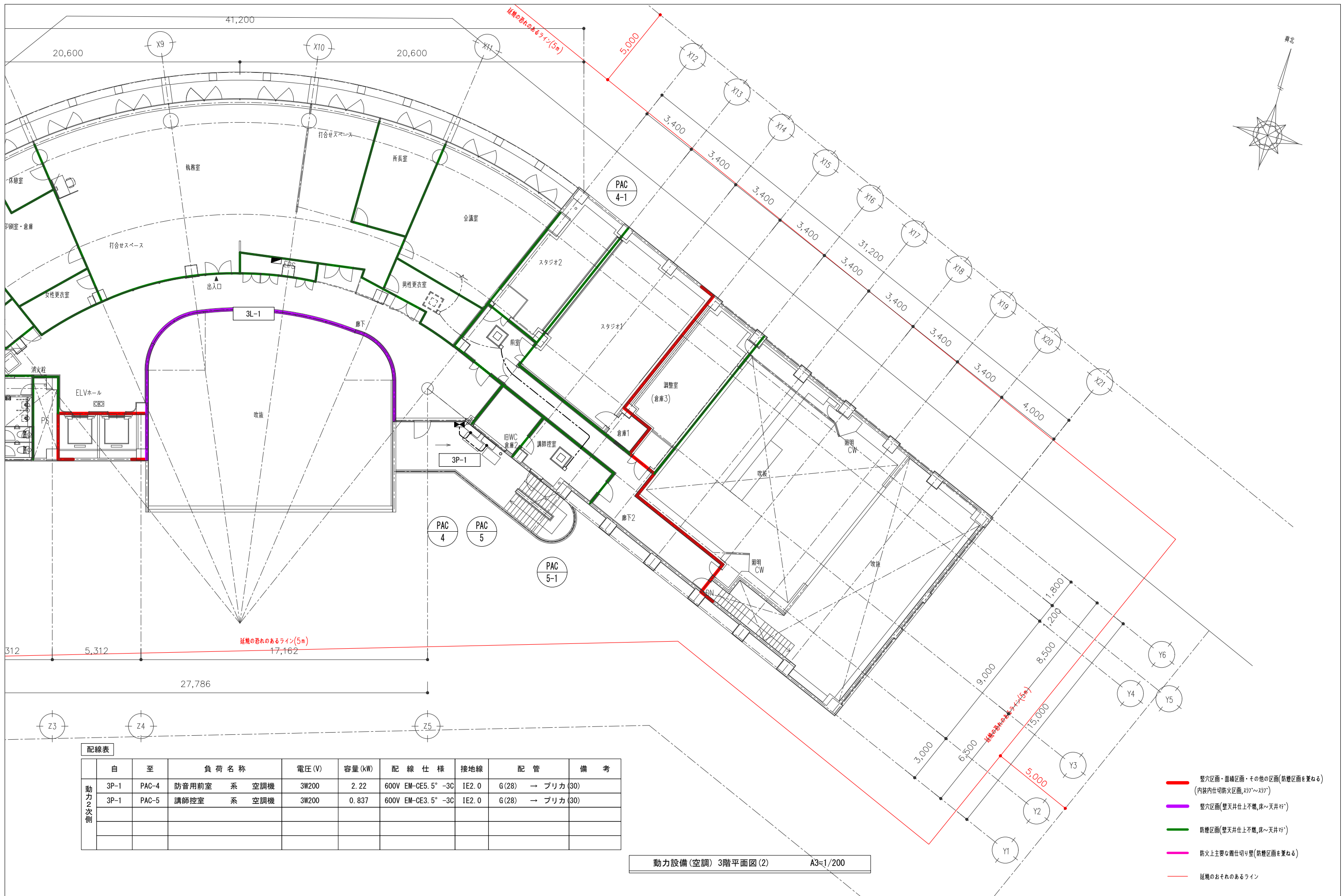
		春日部市	工事名称	縮尺	図名	図面番号
			(仮称) かすかべひがし交流センター整備工事	A1 - 1:100 A3 - 1:200	動力設備(空調)2階平面図(2)	E-30



動力設備(空調)3階平面図(1) A3=1/200

- 縦穴区画・面積区画・その他の区画(防煙区画を兼ねる)
(内装内仕切防火区画, 57~57)
- 縦穴区画(壁天井上不燃, 床~天井)
- 防煙区画(壁天井上不燃, 床~天井)
- 防火上主要な間仕切り壁(防煙区画を兼ねる)
- 延焼のおそれのあるライン

縮尺	工事名称	図名	図面番号
A1 - 1:100 A3 - 1:200	(仮称) かすかべひがし交流センター整備工事	動力設備(空調)3階平面図(1)	E-31

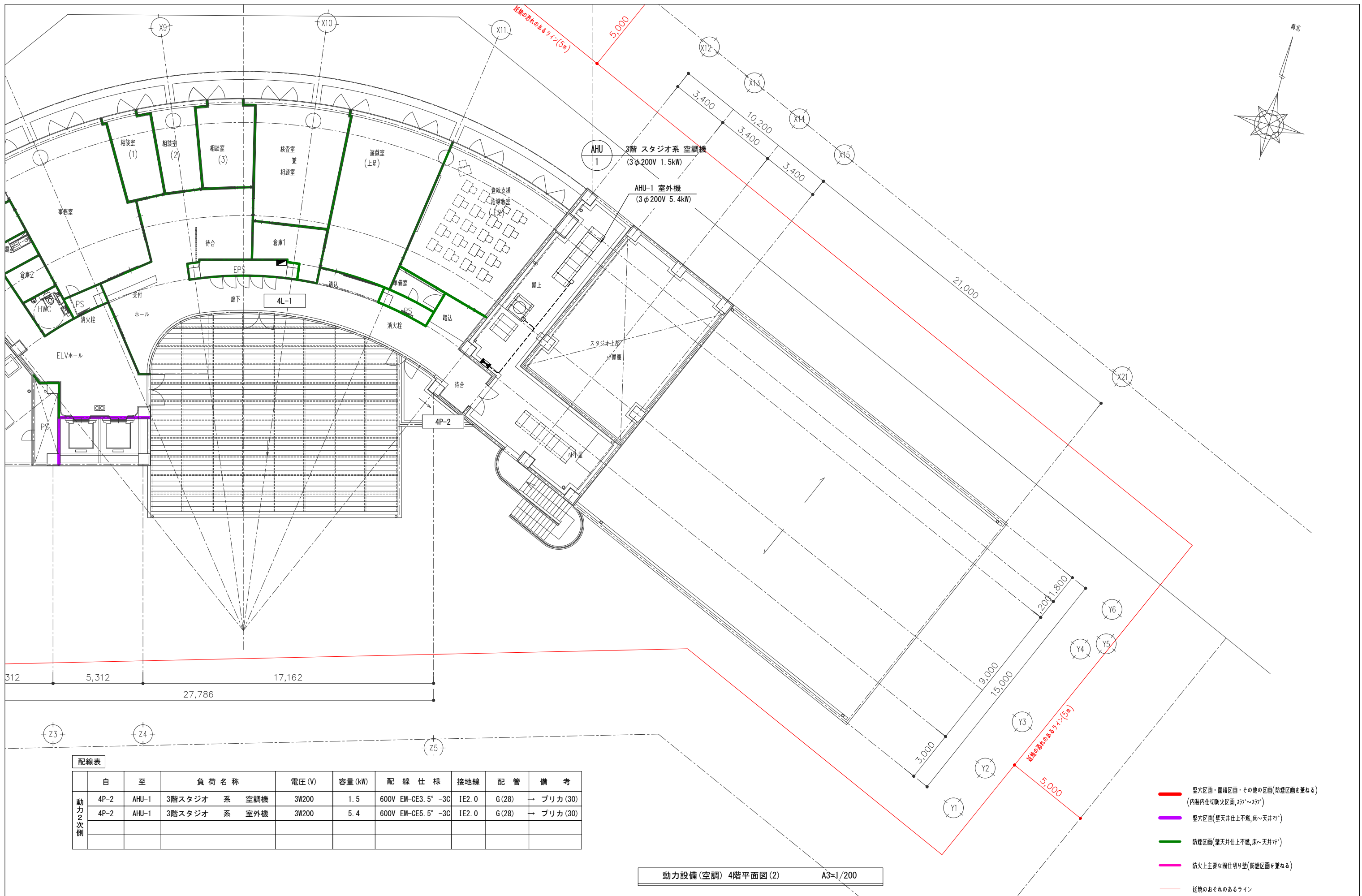


配線表

	自	至	負荷名称	電圧(V)	容量(kW)	配線仕様	接地線	配管	備考
動力2次側	3P-1	PAC-4	防音用前室系 空調機	3W200	2.22	600V EM-CE5.5°-3C	IE2.0	G(28) → プリカ(30)	
	3P-1	PAC-5	講師控室系 空調機	3W200	0.837	600V EM-CE3.5°-3C	IE2.0	G(28) → プリカ(30)	

動力設備(空調)3階平面図(2) A3=1/200

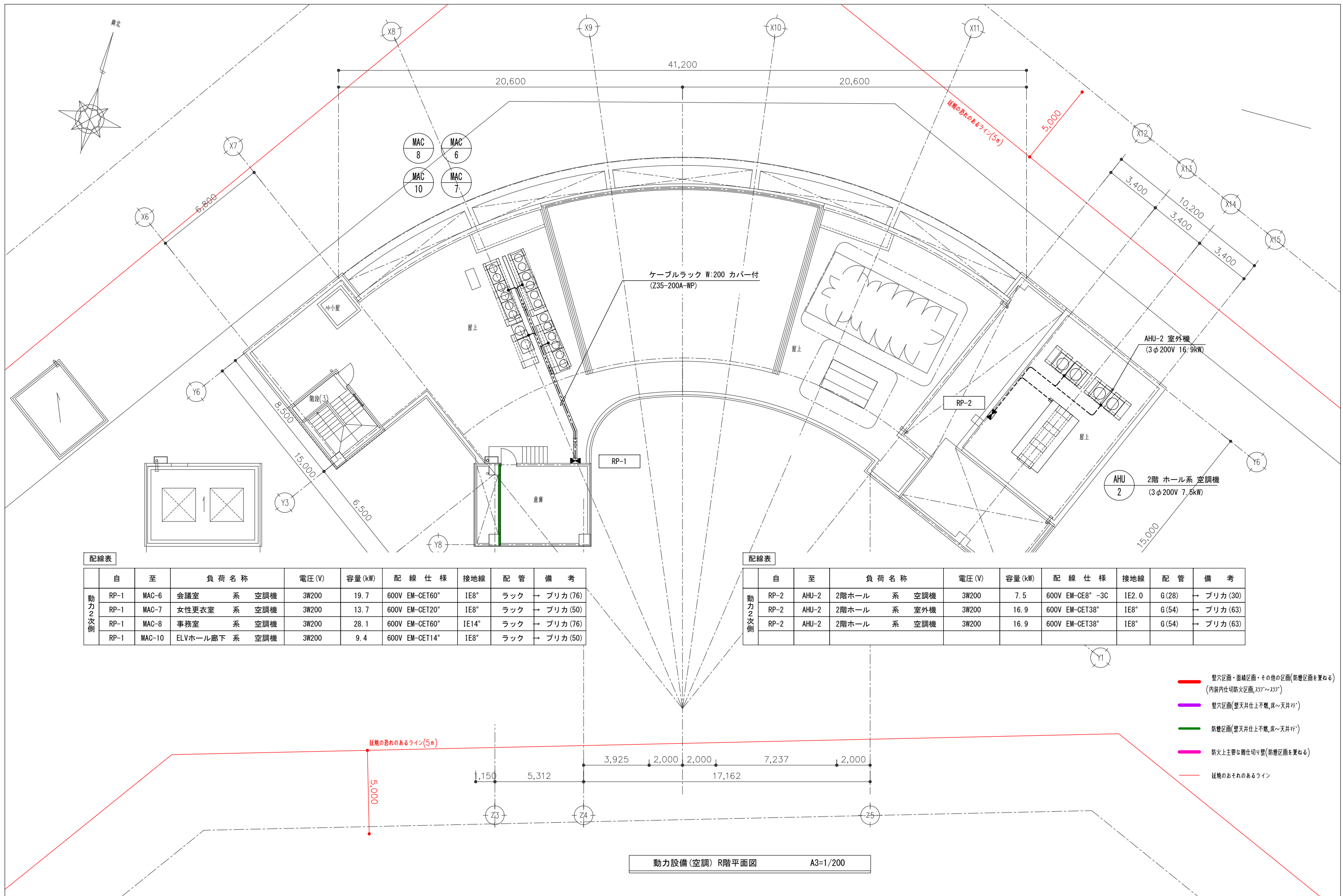
- 壁穴区画・面積区画・その他の区画(防壁区画を兼ねる)
(内装内仕切防火区画,スチール~スチール)
- 壁穴区画(壁天井上上不燃,床~天井)
- 防壁区画(壁天井上上不燃,床~天井)
- 防火上主要な隔仕切り壁(防壁区画を兼ねる)
- 延焼のおそれのあるライン



配線表									
	自	至	負荷名称	電圧(V)	容量(kW)	配線仕様	接地線	配管	備考
動力2次側	4P-2	AHU-1	3階スタジオ系空調機	3W200	1.5	600V EM-CE3.5°-3C	IE2.0	G(28)	→ プリカ(30)
	4P-2	AHU-1	3階スタジオ系室外機	3W200	5.4	600V EM-CE5.5°-3C	IE2.0	G(28)	→ プリカ(30)

動力設備(空調)4階平面図(2) A3=1/200

- 堅穴区画・面積区画・その他の区画(防煙区画を兼ねる)
(内装内仕切防火区画,スリット等)
- 堅穴区画(壁天井上不燃,床~天井行)
- 防煙区画(壁天井上不燃,床~天井行)
- 防火上主要な欄仕切り壁(防煙区画を兼ねる)
- 延焼のおそれのあるライン



配線表

	自	至	負荷名称	電圧(V)	容量(kW)	配線仕様	接地線	配管	備考
動力2次側	RP-1	MAC-6	会議室系空調機	3W200	19.7	600V EM-CET60°	IE8°	ラック	→ プリカ(76)
	RP-1	MAC-7	女性更衣室系空調機	3W200	13.7	600V EM-CET20°	IE8°	ラック	→ プリカ(50)
	RP-1	MAC-8	事務室系空調機	3W200	28.1	600V EM-CET60°	IE14°	ラック	→ プリカ(76)
	RP-1	MAC-10	ELVホール廊下系空調機	3W200	9.4	600V EM-CET14°	IE8°	ラック	→ プリカ(50)

配線表

	自	至	負荷名称	電圧(V)	容量(kW)	配線仕様	接地線	配管	備考
動力2次側	RP-2	AHU-2	2階ホール系空調機	3W200	7.5	600V EM-CE8°-3C	IE2.0	G(28)	→ プリカ(30)
	RP-2	AHU-2	2階ホール系室外機	3W200	16.9	600V EM-CET38°	IE8°	G(54)	→ プリカ(63)
	RP-2	AHU-2	2階ホール系空調機	3W200	16.9	600V EM-CET38°	IE8°	G(54)	→ プリカ(63)

- 堅穴区画・面積区画・その他の区画(防煙区画を兼ねる)
(内装内仕切防火区画, X77~X77')
- 堅穴区画(壁天井仕上不燃, 床~天井行')
- 防煙区画(壁天井仕上不燃, 床~天井行')
- 防火上主要な仕切り壁(防煙区画を兼ねる)
- 送電のおそれのあるライン

動力設備(空調)R階平面図 A3=1/200

